

2012年度決算 投資家説明会

2013年5月17日

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ
株式会社 三井住友銀行

■ 本日のアジェンダ

I. 2012年度決算の概要と2013年度業績予想

1. 2012年度総括	3
2. 財務目標の進捗状況	4
3. 2012年度業績サマリー	5
4. 2012年度セグメント別実績	6
5. 部門別実績	7
6. 貸出金残高	8
7. 海外貸出金・預金・外貨調達	9
8. 貸出金スプレッド	11
9. 国債等債券損益	12
10. 債券ポートフォリオ	13
11. 経費	14
12. クレジットコスト	15
13. 不良債権残高	16
14. 政策保有株式	18
15. 資本・リスクアセット	19
16. 資本政策	20
17. 2013年度業績予想	21

II. グループ経営の強化と経営環境

1. 当社グループ概要	23
2. グループ再編実績	24
3. 足許の日本経済・財政	27

III. 事業戦略

1. 2013年度経営方針	31
2. 個人ビジネス	32
3. 法人ビジネス	36
4. 海外ビジネス	42

Appendix

I . 2012年度決算の概要と2013年度業績予想

1. 2012年度総括

- SMFG連結(7,941億円)、SMBC単体(6,178億円)ともに当期純利益で過去最高を計上
- 中期経営計画の財務目標値を一年前倒しで達成
 - SMBCのマーケティング部門をはじめ、グループ会社総じて堅調
 - クレジットコストが低水準
 - SMBCの税コスト負担の軽減
(税効果会計に係る例示区分を4号但書から2号へ変更:影響額 900億円程度)

1株当たり情報 (SMFG連結)

	12年度	前年比	13年度予想
1株当たり当期純利益	586.49円	+212.23円	428.40円
ROE(株主資本ベース)	14.8%	+4.4%	
配当	120円*	+20円	110円
うち普通配当	110円	+10円	110円

* 三井住友フィナンシャルグループ発足10周年記念配当10円を含む

	13/3月末	12/3月末比
1株当たり純資産	4,686.69円	+830.32円

格付 (SMBC)

Moody's	Aa3 / P-1
S&P	A+ / A-1
Fitch	A- / F1
R&I	AA- / a-1+
JCR	AA / J-1+

1ノッチ格上げ
(JCR : 12/9月、
R&I : 12/12月)

2. 財務目標の進捗状況

- 中期経営計画の財務目標値を一年前倒しで達成

普通株式等Tier1比率	11/3月末	13/3月末	13年度目標値
完全実施基準	6%台前半	8.6%	8%程度
(参考) 規制基準	8%強	9.38%	

	10年度(実績)	12年度(実績)	13年度目標値
連結当期純利益RORA	0.8%	1.3%	0.8%程度
(参考) 連結当期純利益ROE	9.9%	14.8%	
連結経費率	52.5%	52.4%	50%台前半
単体経費率	45.6%	47.3%	40%台後半
海外収益比率*	23.3%	30.2%	30%程度

* 中期経営計画期間中は、計画前提の1ドル=85円ベース

3. 2012年度業績サマリー

P/L

		(億円)	12年度	前年比	11月予想比
SMFG連結	粗利益		27,929	+1,984	
	連単差		12,528	+1,908	
	うち資金利益		13,926	+513	
	うち資金利益以外		14,003	+1,471	
	営業経費		▲14,963	▲749	
	与信関係費用		▲1,731	▲518	
	経常利益		10,737	+1,382	+2,437
	連単差		4,029	+1,627	+629
	当期純利益		7,941	+2,755	+2,541
	連単差		1,763	+1,357	+363
SMBC単体	業務粗利益		15,401	+76	+501
	うち国債等債券損益		1,138	▲387	
	経費 ^{*1}		▲7,277	▲82	▲77
	業務純益 ^{*2}		8,124	▲6	+424
	与信関係費用		▲195	△391	△605
	株式等損益		▲357	▲205	
	経常利益		6,709	▲245	+1,809
	当期純利益		6,178	+1,398	+2,178

SMBC以外の主要グループ会社の 連結粗利益寄与(概数)

	(億円)	12年度	前年比
SMBC日興証券		2,760	+460
三井住友カード		1,780	+20
SMBCコンシューマーファイナンス ^{*3}		1,660	+1,230
セディナ		1,570	▲70
三井住友ファイナンス&リース		1,150	+160

SMBC以外の主要グループ会社の 連結当期純利益寄与(概数)

	(億円)	12年度	前年比
SMBCコンシューマーファイナンス ^{*3}		480	+760
SMBC日興証券		450	+270
三井住友ファイナンス&リース		190	+10
三井住友カード		180	+30
SMBC Capital Markets		180	+140
セディナ		130	+510
SMBCフレンド証券		100	+60
SMBC信用保証		100	▲230

*1 臨時処理分を除く *2 一般貸倒引当金繰入前
*3 2011年12月 連結子会社化、2012年4月 完全子会社化

4. 2012年度セグメント別実績

	(億円)	業務粗利益		経費		連結業務純益 ^{*1}	
			前年比		前年比		前年比
合計		28,024	+1,923	▲14,445	▲699	11,662	+1,523
銀行業		17,986	+347	▲8,769	▲256	8,913	▲8
うち三井住友銀行		15,401	+76	▲7,277	▲82	8,124	▲6
リース業		1,204	+183	▲508	▲82	693	+15
うち三井住友ファイナンス &リース ^{*2}		1,148	+157	▲517	▲85	590	▲39
証券業		3,415	+636	▲2,473	▲228	922	+414
うちSMBC日興証券		2,689	+468	▲1,949	▲148	734	+331
コンシューマーファイナンス業		5,265	+903	▲3,312	▲393	1,222	+1,125
うち三井住友カード		1,831	+38	▲1,326	▲60	448	+17
うちセディナ		1,535	▲66	▲1,182	△23	137	+414
うちSMBCコンシューマー ファイナンス ^{*2,3}		1,658	n/a	▲662	n/a	519	+788
その他事業等 ^{*4}		154	▲146	617	△260	▲88	▲23

*1 連結業務純益＝三井住友銀行業務純益(一般貸倒引当金繰入前)＋他の連結会社の経常利益(臨時要因調整後)＋持分法適用会社経常利益×持分割合－内部取引(配当等)

*2 連結計数を記載

*3 11年度第3四半期以前は22%出資の持分法適用会社、第4四半期は連結子会社

*4 各セグメント間の内部取引として消去すべきものを含む

5. 部門別実績(SMBC単体)*1

部門別利益

		(億円)	11年度	12年度	前年比*2
個人部門	粗利益		3,837	3,749	+44
	経費		▲2,895	▲2,844	△54
	業務純益		942	905	+98
法人部門	粗利益		4,229	4,122	▲50
	経費		▲2,228	▲2,167	△23
	業務純益		2,001	1,955	▲27
企業金融部門	粗利益		2,126	2,080	+26
	経費		▲382	▲396	▲6
	業務純益		1,744	1,684	+20
国際部門	粗利益		1,974	2,405	+330
	経費		▲649	▲729	▲84
	業務純益		1,325	1,676	+246
マーケティング部門	粗利益		12,166	12,356	+350
	経費		▲6,154	▲6,136	▲13
	業務純益		6,012	6,220	+337
市場営業部門	粗利益		3,193	2,953	▲240
	経費		▲192	▲210	▲15
	業務純益		3,001	2,743	▲255
本社管理	粗利益		▲34	92	▲34
	経費		▲849	▲931	▲54
	業務純益		▲883	▲839	▲88
合計	粗利益		15,325	15,401	+76
	経費		▲7,195	▲7,277	▲82
	業務純益		8,130	8,124	▲6

プロダクト別粗利益

		(億円)	12年度	前年比*2
ウチ	国内貸出金収益		4,599	▲225
	国内円預金収益		1,482	+1
	国際部門金利関連収益*3		1,461	+240
金利収益			8,141	▲6
ウチ	投資信託		501	+32
	一時払終身保険		124	+18
	平準払保険		122	+47
個人向けコンサルティング関連収益			800	+55
ウチ	シンジケーション関連		614	+115
	ストラクチャードファイナンス*4		567	+77
	不動産ファイナンス*4		294	▲9
投資銀行ビジネス関連収益*4			1,729	+181
ウチ	デリバティブ販売		197	+34
	振込・EB		920	▲5
	外為収益		433	+1
	国際部門非金利収益*3		1,004	+88
非金利収益			4,215	+356
マーケティング部門粗利益			12,356	+350

仕切りレート等変更調整: ▲160億円

(表面ベース) 前年比: +190億円

期中平均貸出残高・スプレッド

	(兆円、%)	平均残高		スプレッド	
		12年度	前年比*2	12年度	前年比*2
国内貸出		45.9	▲1.7 *5	1.04	▲0.01
ウチ個人部門		15.1	▲0.2	1.43	▲0.02
ウチ法人部門		16.3	▲0.2	1.06	▲0.07
ウチ企業金融部門		11.6	▲0.2	0.66	▲0.01
国際部門運用資産*6		1,470億ドル	+171億ドル	1.18	+0.10

*1 内部管理ベース *2 仕切りレート等の変更調整後ベース

*3 香港・台北支店における日系企業取引収益を含む *4 金利収益を含む

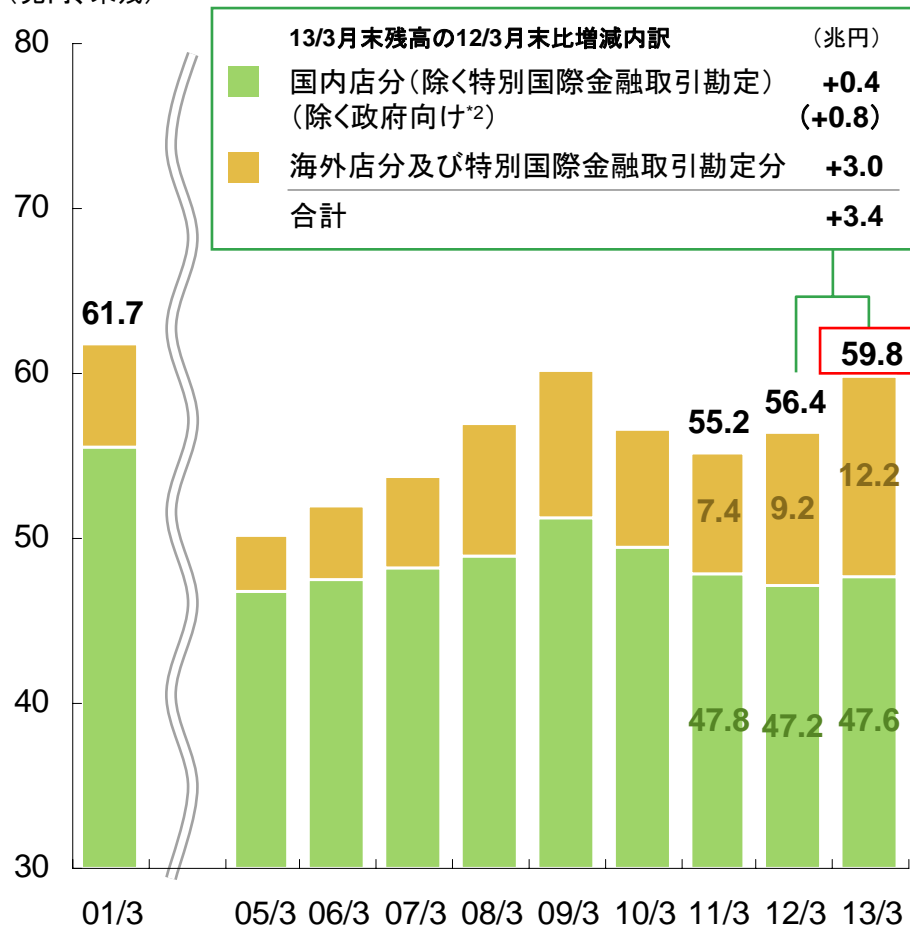
*5 うち交付税特別会計等政府向け貸出の減少▲1.1兆円 *6 貸出金・貿易手形・有価証券の合計

6. 貸出金残高

SMBC単体

貸出金残高の推移^{*1}

(兆円、未残)



国内部門別貸出金残高(内部管理ベース)

(兆円、未残)	13/3月末	12/3月末比
個人部門	15.0	▲ 0.1 ^{*3}
法人部門 ^{*4}	17.0	+0.5
企業金融部門	12.1	+0.4

海外地域別貸出金残高^{*5}(内部管理ベース)

(兆円、未残)	13/3月末	12/3月末比	除く為替影響
海外合計	13.7	+ 3.2	+ 1.6
(うち日系企業向け)	(3.9)	(+1.1)	(+0.7)
アジア	5.4	+ 1.3	+ 0.7
(うち日系企業向け)	(1.5)	(+0.4)	(+0.2)
米州	4.4	+ 1.3	+ 0.7
(うち日系企業向け)	(1.8)	(+0.6)	(+0.4)
欧州	3.9	+ 0.6	+ 0.2
(うち日系企業向け)	(0.6)	(+0.1)	(+0.1)

*1 01/3月末は、旧さくら銀行・旧住友銀行の合算 *2 交付税特別会計等向け
*5 SMBC、欧州三井住友銀行・三井住友銀行(中国)の合算。拠点ベース。

*3 12年度実施の住宅ローン証券化分(約1,200億円)の加算調整後

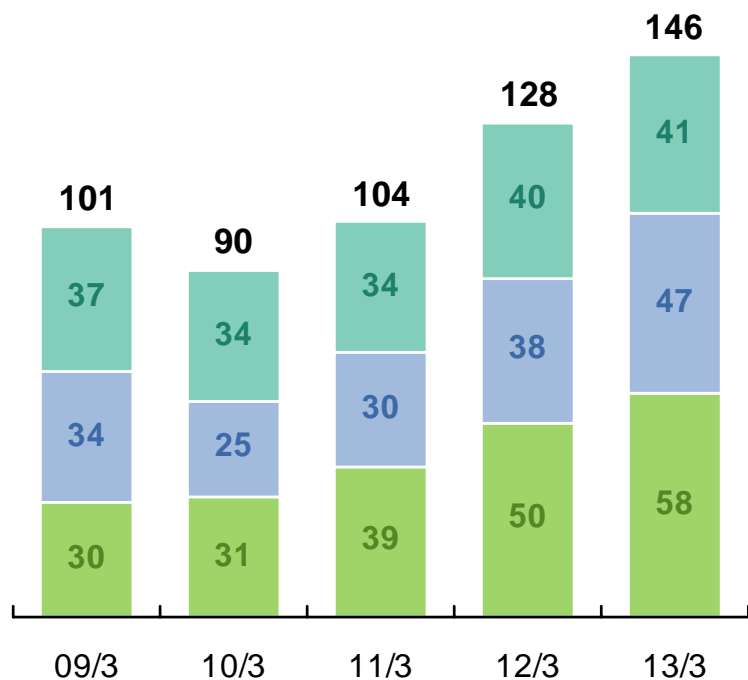
*4 交付税特別会計等向けを除く

7. 海外貸出金・預金・外貨調達 (1)

海外貸出金残高*

(10億米ドル)

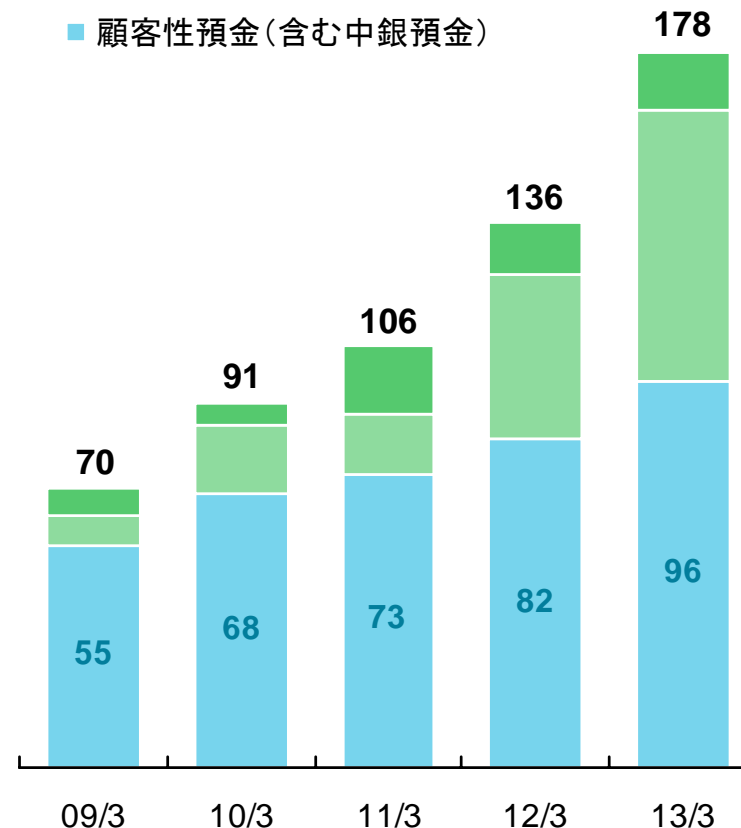
- EMEA
- 米州
- アジア



海外預金等残高*

(10億米ドル)

- CD・CP(3ヶ月未満)
- CD・CP(3ヶ月以上)
- 顧客性預金(含む中銀預金)



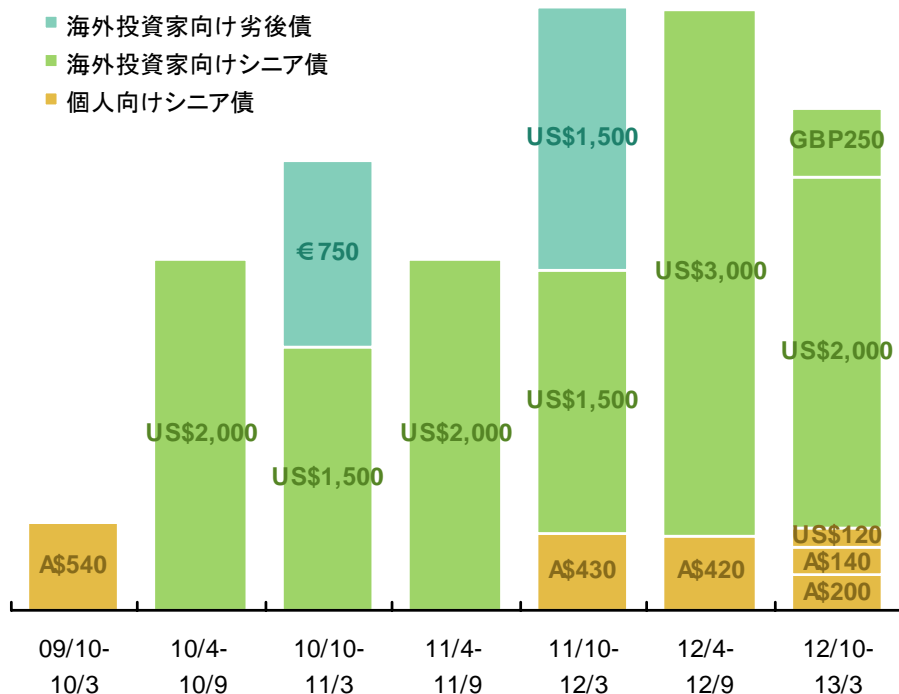
* 内部管理ベース(各期末実績レートにて換算)。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算

7. 海外貸出金・預金・外貨調達 (2)

SMBCの外貨資金調達の多様化

- 海外投資家向け米ドル建シニア債(12/7月、13/1月)、国内個人向け外貨建シニア債(12/6月、12/12月)発行を継続
- 初の取組みとして、海外投資家向け英ポンド建シニア債(13/3月)、2通貨建での国内個人向けシニア債(13/3月)、シドニー支店による豪ドル建Transferable Deposits^{*1}(13/2月)を発行

外貨建て社債発行額 (百万通貨単位)



SMBCの直近の米ドル建シニア債発行時のスプレッド水準

年限	条件決定日	発行体	発行額 (百万米ドル)	クーポン (%)	スプレッド [*] (bp)	格付 ^{*2}	
						Moody's	S&P
5年	2012/12/10	BNP Paribas (New York)	750	2.375	143.0	A2	AA-
	2012/12/11	Bank of Nova Scotia	1,000	1.375	77.0	Aa1	AA-
	2012/12/13	HSBC USA Inc	1,500	1.625	100.0	A2	A+
	2012/12/18	Wells Fargo & Co	1,250	1.500	78.0	A2	A+
	2013/1/7	Westpac Banking Corp	1,000	1.600	80.0	Aa2	AA-
	2013/1/7	Royal Bank of Canada	1,250	1.500	72.0	Aa3	AA-
	2013/1/7	Intesa Sanpaolo Spa (New York)	1,500	3.875	310.0	Baa2	BBB+
	2013/1/8	Bank of America Corp	2,000	2.000	125.0	Baa2	A-
	2013/1/10	Sumitomo Mitsui Banking Corp	750	1.500	77.0	Aa3	A+
	2013/1/17	Canadian Imperial Bank of Commerce	750	1.550	78.0	Aa2	A+

(参考)2010年7月の発行スプレッド水準

年限	条件決定日	発行体	発行額 (百万米ドル)	クーポン (%)	スプレッド [*] (bp)	格付 ^{*2}	
						Moody's	S&P
5年	2010/6/17	JP Morgan Chase & Co	1,250	3.400	145.0	Aa3	A+
	2010/6/21	HSBC Bank plc	2,000	3.500	150.0	Aa2	AA
	2010/7/7	Credit Suisse (New York)	500	3.500	145.0	Aa1	A+
	2010/7/7	Royal Bank of Canada	1,000	2.625	90.0	Aaa	AA-
	2010/7/14	Sumitomo Mitsui Banking Corp	1,000	3.150	137.5	Aa2	A+
	2010/7/22	US Bancorp	1,000	2.450	78.0	Aa3	AA+
	2010/7/26	Westpac Banking Corp	2,000	3.000	137.0	Aa1	AA
	2010/8/2	Citigroup, Inc.	750	4.750	255.0	A3	A
	2010/8/4	Intesa Sanpaolo Spa	1,000	3.625	205.0	Aa2	A+

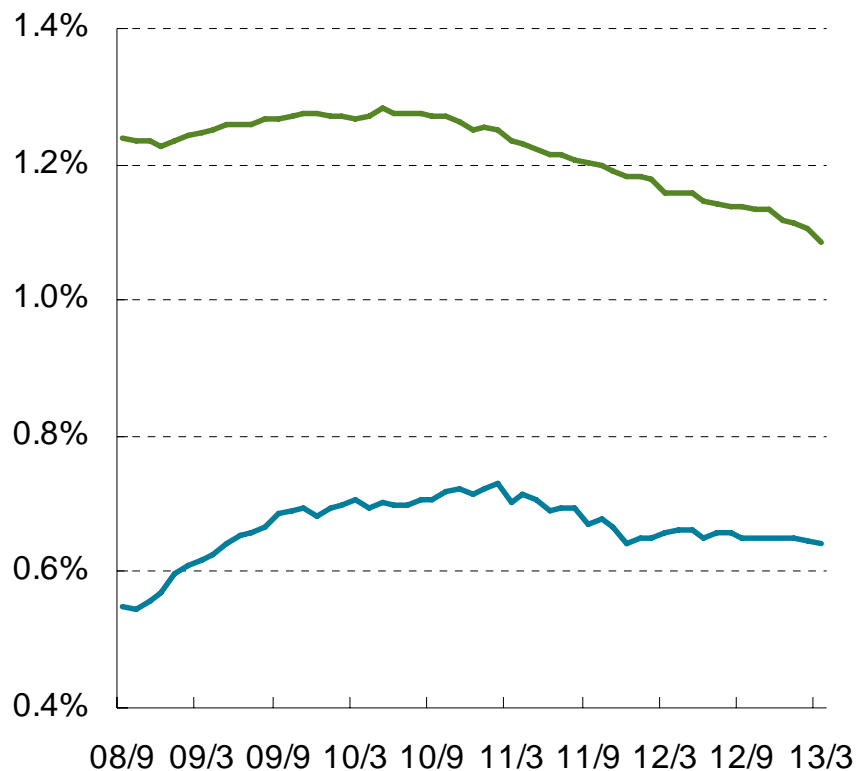
*1譲渡性預金的一种で、オーストラリア国内では社債と同等の扱いで流通している証券

*2発行時の格付

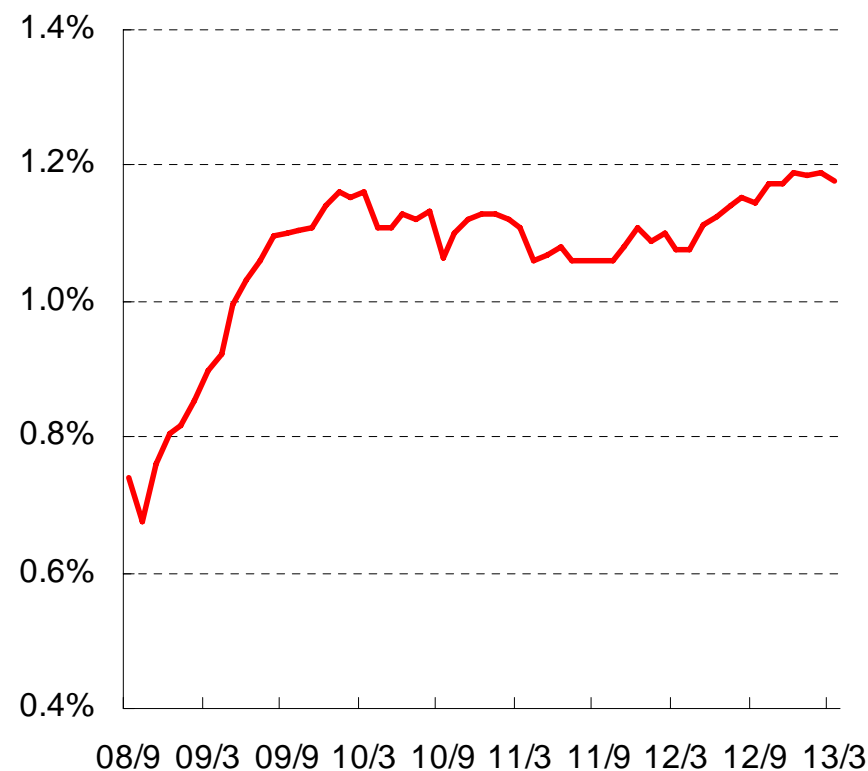
8. 貸出金スプレッド^{*1}

国内貸出金スプレッド^{*2}

- 大企業向け貸出(企業金融部門)
- 中堅・中小企業向け貸出(法人部門)



海外貸出金スプレッド^{*3}



*1 内部管理ベース。ストックベース。 *2 SMBC単体 *3 SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行(中国)の合算

9. 国債等債券損益

SMBC単体

国債等債券損益

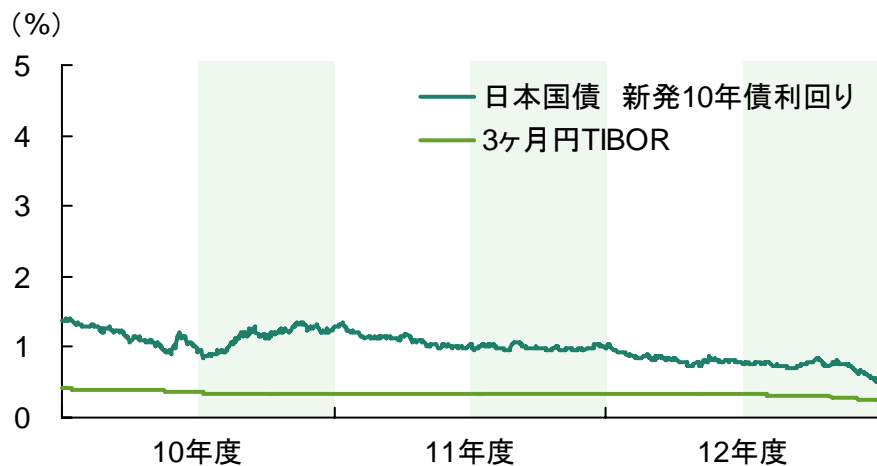
(億円)	11年度	12年度	前年比
国債等債券損益	1,525	1,138	▲387
国内業務部門	232	407	+175
国際業務部門	1,293	732	▲562

市場営業部門粗利益

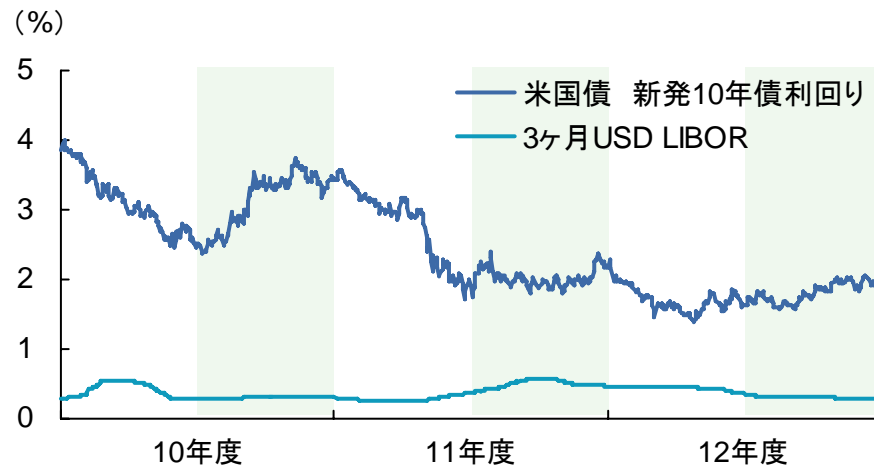
(億円)	11年度	12年度	前年比
市場営業部門粗利益	3,193	2,953	▲240

内外金利動向

日本円



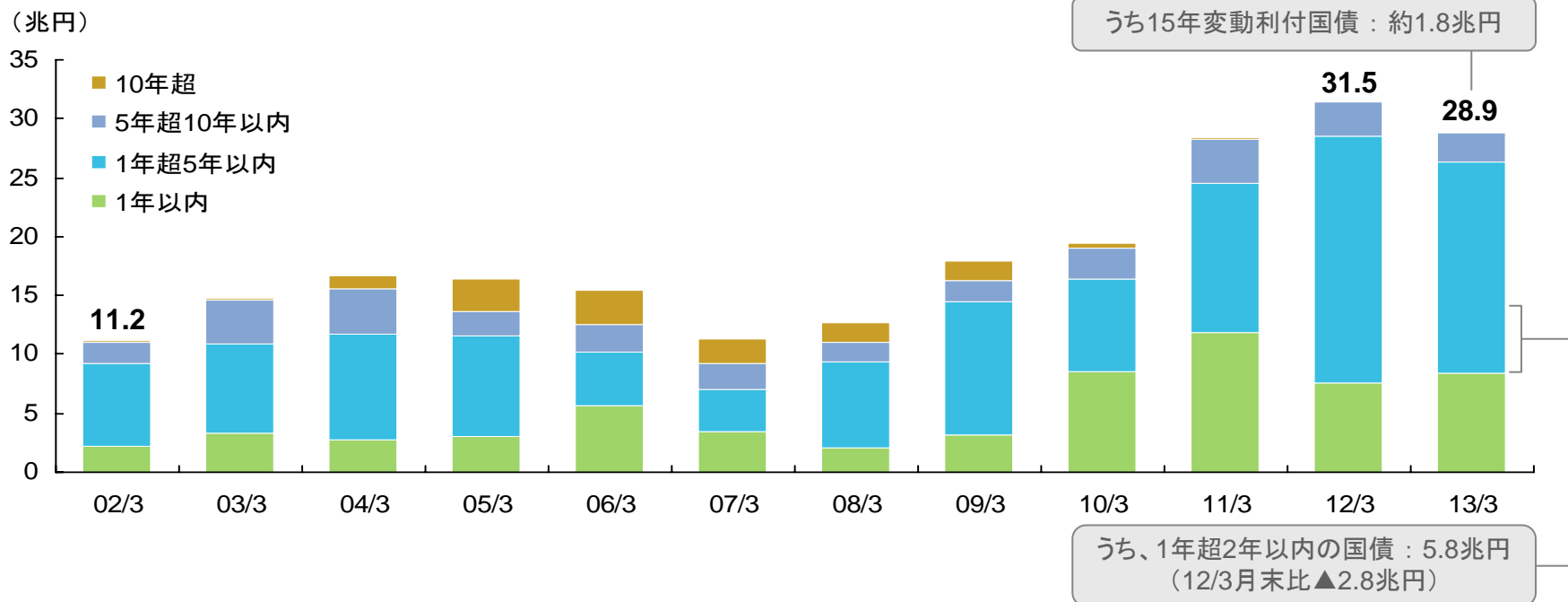
米ドル



10. 債券ポートフォリオ

円債ポートフォリオ残高

SMBC単体 (その他有価証券のうち満期があるもの及び満期保有目的の債券：国債・地方債・社債の合計)



平均 デュレーション (年) ^{*1}	2.7	3.6	3.4	2.3	1.5	1.7	2.4	1.8	1.1	1.4	1.9	1.8
評価損益 (億円) ^{*2}	376	1,087	▲1,019	77	▲2,822	▲1,514	▲1,295	▲12	1,161	719	1,044	953

*1 ヘッジ会計適用分・満期保有分を除く、私募債を含まず。15年変動利付国債のデュレーションはゼロで計算(02/3月末は国債ポートフォリオのデュレーション)

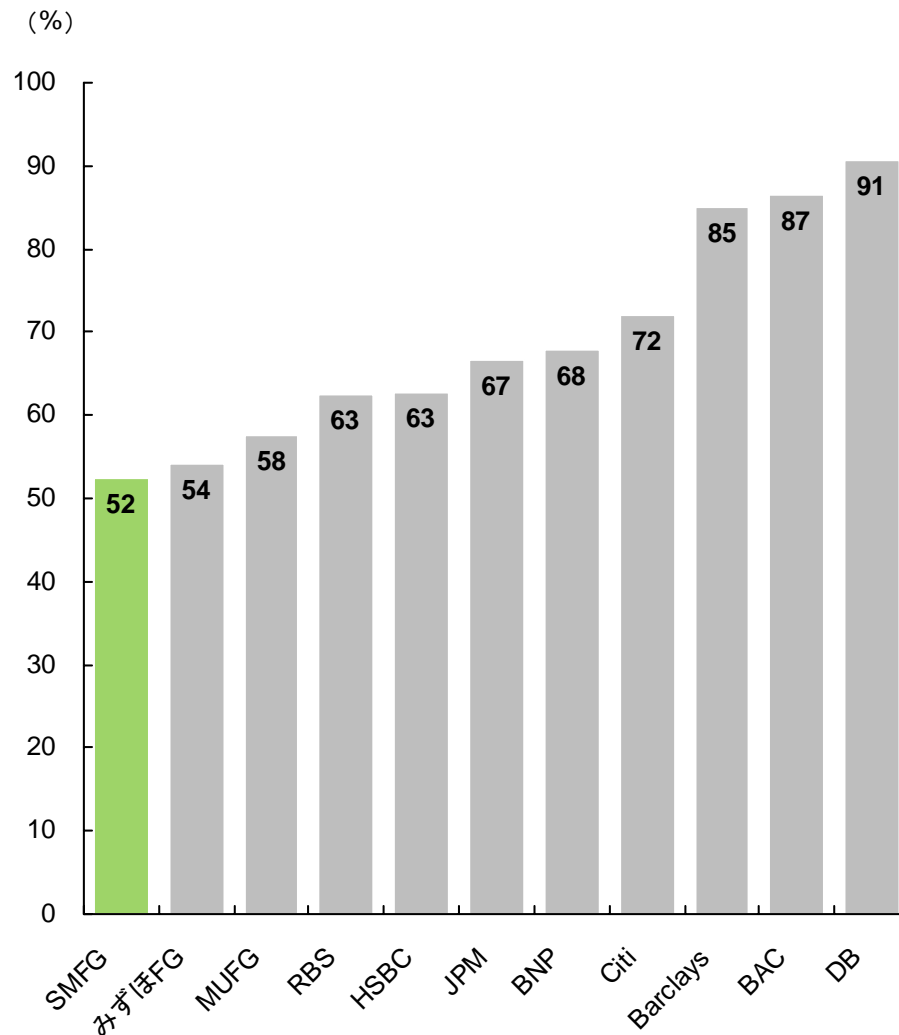
*2 09/3月末以降、15年変動利付国債は合理的な見積り価額を用いて評価

11. 経費

経費の推移*1

(億円)		12年度	前年比	13年度 予想
SMFG 連結	経費*2	▲14,647	▲763	
	経费率	52.4%	△1.1%	
SMBC 単体	経費	▲7,277	▲82	▲7,400
	経费率	47.3%	+0.4%	48.1%

連結経费率の国内外主要行比較*3



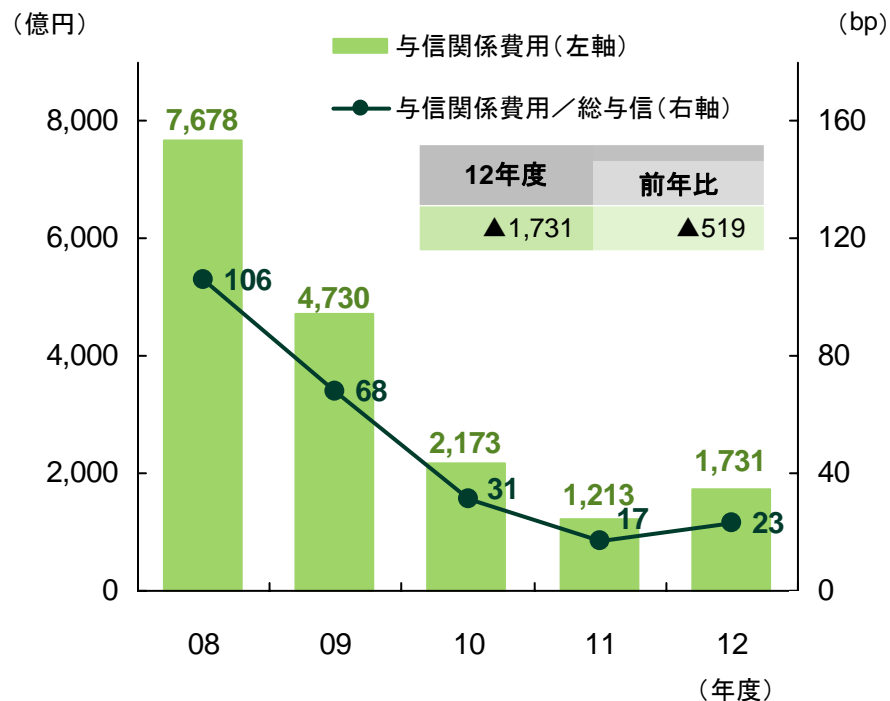
*1 臨時処理分を除く。

*2 連結営業経費からSMBC単体の臨時処理分を除いたもの

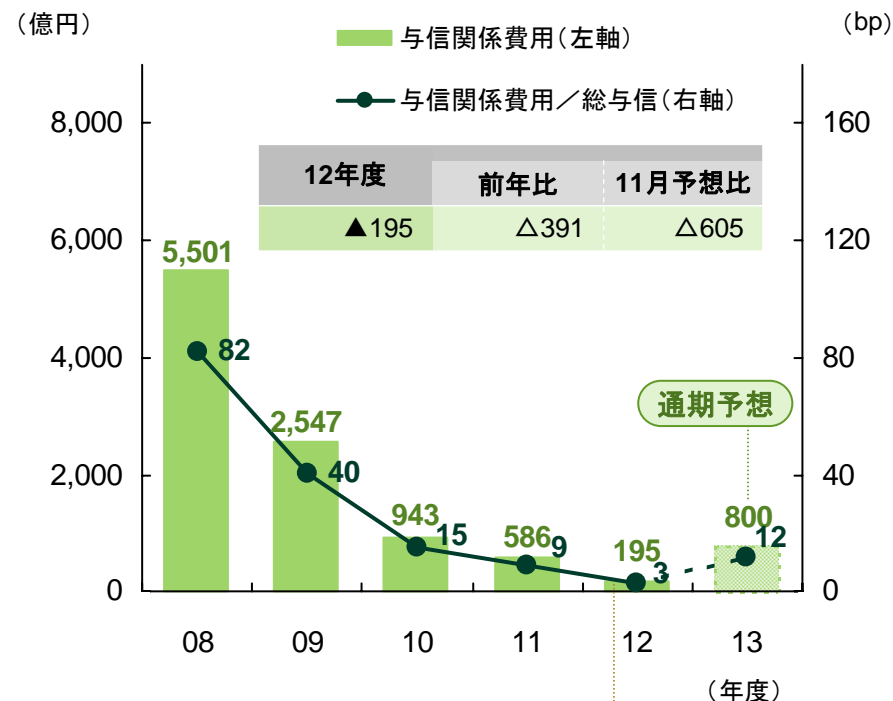
*3 各社公表データに基づき、営業経費(邦銀は傘下銀行の臨時処理分を除く)をトップライン収益(保険契約に基づく保険金及び給付金純額を除く)で除したもの。SMFG、MUFG、みずほFGは2012年度実績、その他は2012年1-12月実績

12. クレジットコスト

SMFG連結



SMBC単体



連単差の主な内訳*1

(億円)	12年度	前年比
連単差	▲1,536	▲910
SMBCコンシューマーファイナンス*2	▲410	▲370
関西アーバン銀行	▲270	▲60
セディナ	▲220	△40

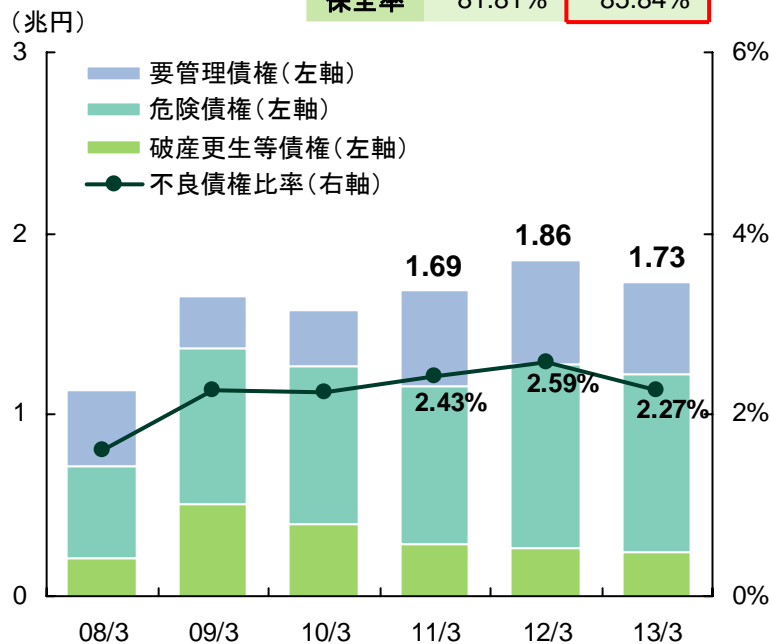
財務健全性確保の観点から、引当の積み増しや引当率の見直し等を実施。一方、新規劣化の抑制や戻りの発生等からクレジットコストは低水準

*1 内訳は概数 *2 11/12月連結子会社化、旧プロミス

13. 不良債権残高

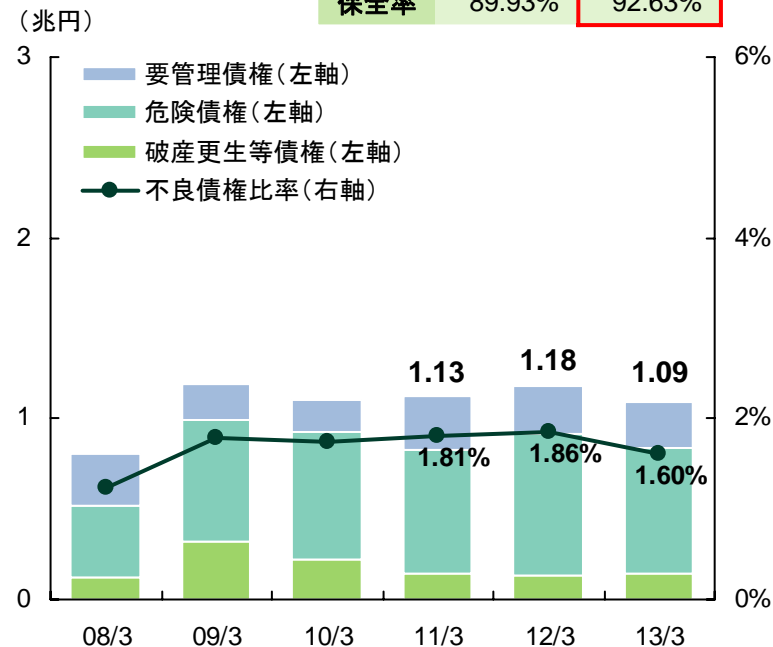
SMFG連結

	12/3月末	13/3月末
保全率	81.81%	85.84%



SMBC単体

	12/3月末	13/3月末
保全率	89.93%	92.63%



(兆円)

その他 要注意先残高*	2.6	3.7	3.7	3.1	2.8	1.9
総与信末残	65	67	63	62	64	68

* 除く要管理先債権

(参考)事業法人、ソブリン、金融機関等向けエクスポージャー

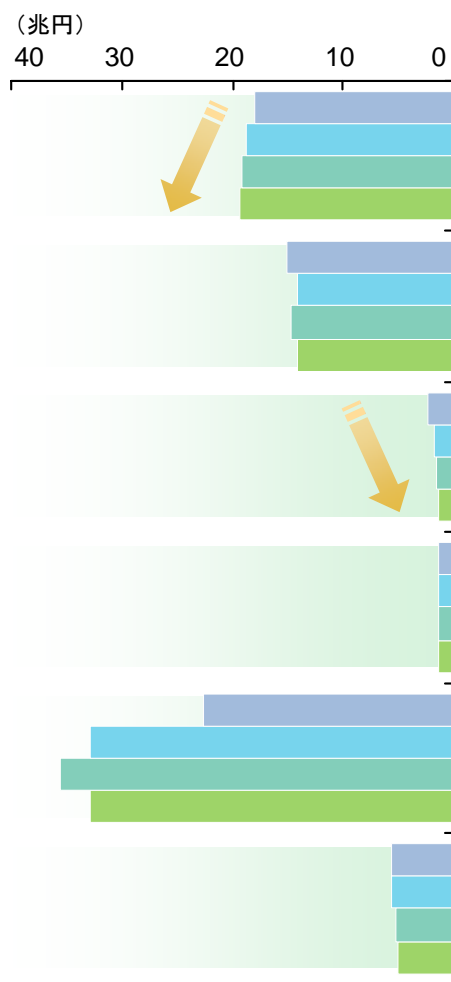
国内

海外

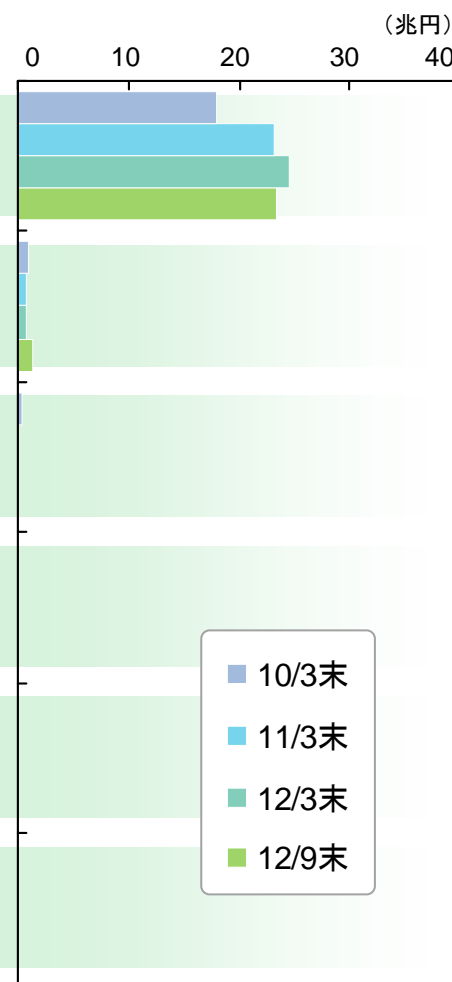
【12/9月末】

【12/9月末】

PD	LGD	Risk weight
0.07%	34.92%	16.75%
0.75%	29.90%	42.08%
12.28%	28.16%	116.58%
100.00%	49.46%	13.61%
0.00%	35.22%	0.03%
1.06%	37.46%	50.64%



内部格付 (債務履行の確実性)
1-3 (極めて高い - 十分)
4-6 (当面問題ない - 現在問題ない)
7 (除く 7R) (要注意先)
デフォルト (7R, 8-10)
国・地方等
その他



PD	LGD	Risk weight
0.15%	30.68%	17.36%
3.49%	15.69%	41.61%
22.70%	22.15%	117.08%
100.00%	67.80%	46.44%
-	-	-
1.95%	33.23%	79.99%

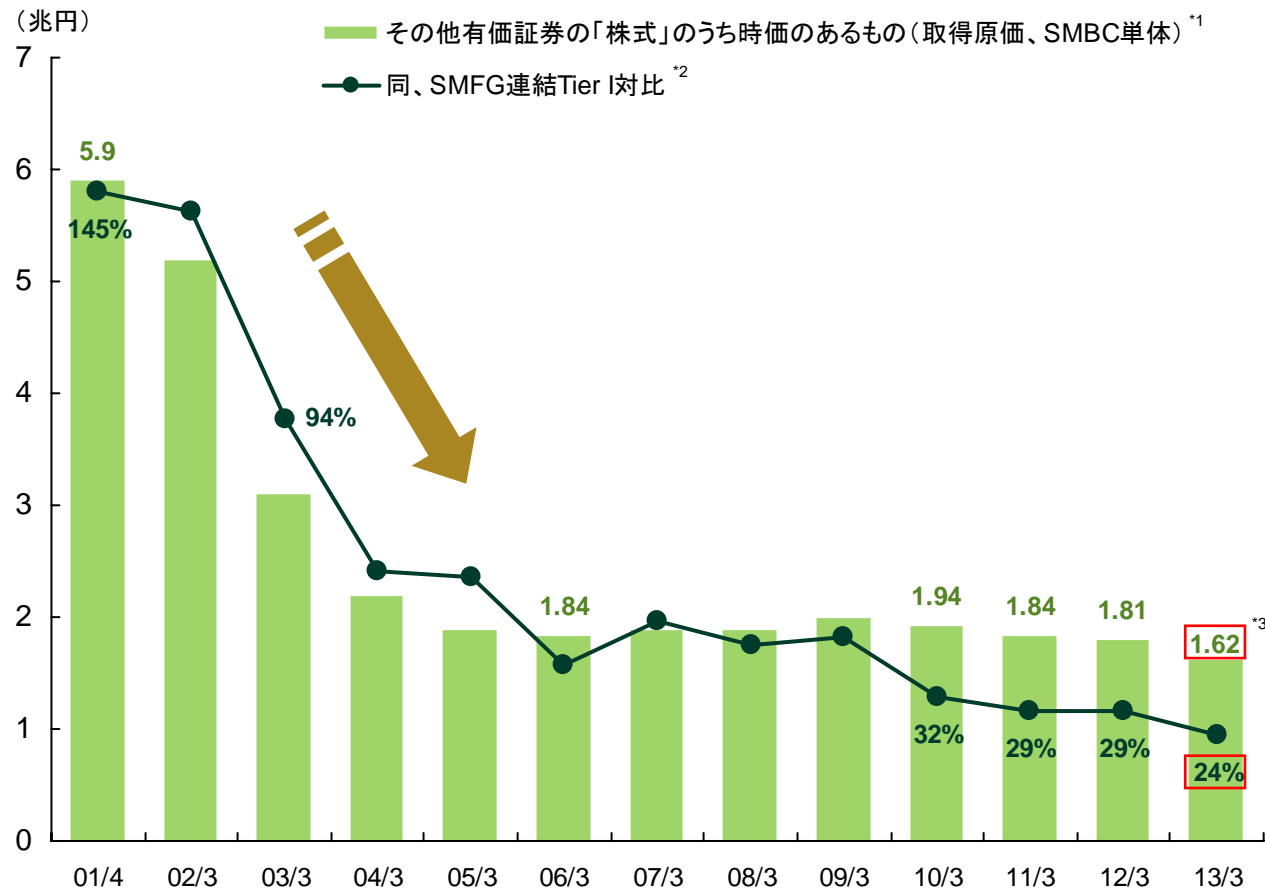
74.2兆円

合計 (12/9月末)

25.2兆円

14. 政策保有株式

その他有価証券の「株式」のうち時価のあるもの



- 10/3月末以降、SMBCが保有する上場株式の非ヘッジ残高を約△3,100億円削減
- 非ヘッジ残高のSMFG連結Tier IIに対する比率を25%以下に低減

*1 非ヘッジ残高 *2 02/3月末まではSMBC連結Tier I対比。13/3月末はバーゼルⅢベースのSMFG連結Tier I対比 *3 プロミス株式交換に伴うSMFG株式増加分を除く

15. 資本・リスクアセット(SMFG連結)

自己資本比率(規制基準)

	(億円)	13/3月末 (速報値)
普通株式等Tier1資本		58,559
うち 普通株式に係る株主資本		55,859
うち 普通株式等Tier1資本に係る少数株主持分		2,689
Tier1資本		68,290
うち 適格旧Tier1資本調達手段		14,633
うち その他Tier1資本に係る調整後少数株主持分		1,276
うち 為替換算調整勘定		▲ 975
うち 調整項目		▲ 5,203
Tier2資本		23,570
うち 適格旧Tier2資本調達手段		18,309
うち その他有価証券及び土地の含み益の45%		5,066
うち 調整項目		▲ 767
総自己資本		91,860
リスクアセット		624,261
普通株式等Tier1比率		9.38%
Tier1比率		10.93%
総自己資本比率		14.71%

リスクアセット*1

	(億円)	12/3月末	13/3月末 (速報値)	12/3月末比
信用リスクアセットの合計額		459,765	567,753	+107,988
マーケットリスク相当額÷8%		11,742	20,313	+8,571
オペレーショナルリスク相当額÷8%		38,925	32,562	▲6,363
経過措置による算入額			3,633	+3,633
(参考)アウトライヤー比率*2		2.6%	1.0%	▲1.6%
合計		510,432	624,261	+113,829

主な変動要因:

- パーゼルⅢ導入影響 約6兆円増加
- 貸出金増加・円安影響等 約5兆円増加

普通株式等Tier1比率(完全実施基準*3(試算値))

	(億円)	13/3月末
規制基準との差異概数		
その他の包括利益累計額		6,650
少数株主持分(経過措置対象分)		▲1,300
普通株式等Tier1資本に係る調整項目		▲10,180
普通株式等Tier1資本(完全実施基準)		53,730
リスクアセット(完全実施基準)		620,630
普通株式等Tier1比率(完全実施基準)		8.6%

*1 12/3月末はバーゼルⅡ、13/3月末はバーゼルⅢ規制基準

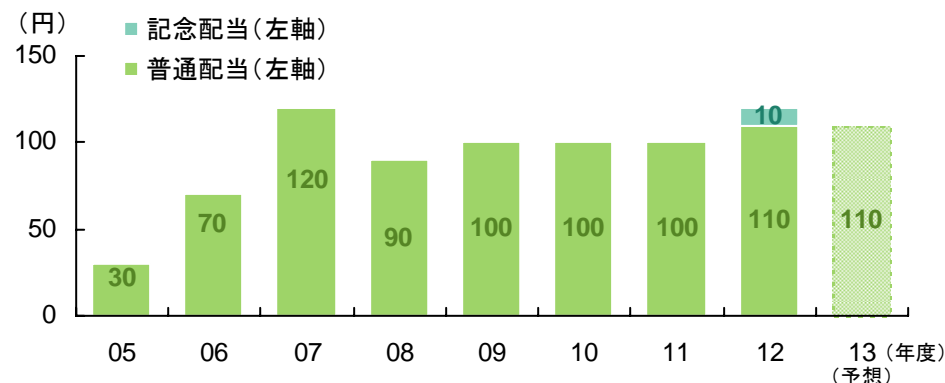
*2 SMBC連結ベース *3 19/3月末に適用される定義に基づく

16. 資本政策

自己資本の構成

普通株式等 Tier1資本	<ul style="list-style-type: none"> 2013年3月末時点の普通株式等Tier1比率(完全実施基準)は8.6%。中期経営計画の財務目標値である8%程度を達成
その他 Tier1資本	<ul style="list-style-type: none"> バーゼルⅢの経過措置により、過去に発行した優先出資証券の一部が、その他Tier1資本に算入されるため、現状の残高は十分
Tier2 資本	<ul style="list-style-type: none"> その他Tier1資本と同様に、劣後債務の一部が、Tier2資本に算入されるため、現状の残高は十分

株主還元^{*1,2}



配当性向 ^{*3}	3.4%	12.5%	20.5%	-	46.8%	30.0%	26.8%	21.3%	26.7%
ROE ^{*4}	22.8%	13.8%	15.8%	-	7.5%	9.9%	10.4%	14.8%	

13年度中に任意償還日が到来する優先出資証券

	発行時期	発行総額	配当率 ^{*5}	任意償還 ^{*6}	ステップアップ
SMFG Preferred Capital USD2 Limited					
	08/5	1,800百万米ドル	8.75%	13/7以降	なし
SMFG Preferred Capital JPY2 Limited					
シリーズD	08/12	1,452億円	4.76%	14/1以降	なし
シリーズG	09/1	1,257億円	4.65%	14/1以降	なし

自己 株式	SMFG保有自己株式	13/3末残高: 3.8百万株
	SMBC保有SMFG株式	13/3末残高: 56.2百万株 ⇒ 13.3百万株を売却(13/4月公表) (有価証券処分信託により市場影響を抑えながら実施)

*1 2009年1月4日付で実施した株式分割(1株につき100株の割合をもって分割)が05年度期首に行われたと仮定した場合の計数を記載

*2 普通株式のみ *3 普通株連結配当性向 *4 株主資本ベース

*5 SMFG Preferred Capital JPY 2 Limitedの任意償還日以降の配当率は変動配当率 *6 金融庁の事前承認を前提に、各配当支払日に任意償還可能

17. 2013年度業績予想

P/L

		(億円)	12年度 実績	上期予想	13年度 予想
SMFG 連結	経常利益		10,737	5,300	10,300
	連単差		4,028	1,600	3,500
	当期純利益		7,941	2,900	5,800
	連単差		1,763	600	1,500
SMBC 単体	業務粗利益		15,401	7,600	15,400
	うち国債等債券損益		1,138		
	経費 ^{*1}	▲7,277	▲3,700	▲7,400	
	<経費率>	47.3%	48.7%	48.1%	
	業務純益 ^{*2}	8,124	3,900	8,000	
	与信関係費用	▲195	▲100	▲800	
	経常利益	6,709	3,600	6,800	
当期純利益	6,178	2,300	4,300		

業績予想の前提^{*3}

	12年度 実績	13年度 予想
3ヶ月TIBOR	0.32%	0.27%
FF金利(誘導水準)	0.00~ 0.25%	0.00~ 0.25%
為替相場	(円/米ドル)	94.01
	(円/ユーロ)	120.66

● SMBC Capital Marketsの税還付効果剥落、SMBCにおけるSMFG株式売却益の連結決算上の取り消し等の一時的要因もあり減益を想定

● 市場営業部門は減益ながら、国際部門の増益等によりマーケティング部門は増益を想定

● 税効果会計に係る例示区分変更等による税コスト負担軽減の剥落等から減益を想定

*1 臨時処理分を除く *2 一般貸倒引当金繰入前

*3 名目GDP成長率：12年度予測 +0.4%、13年度予測 +2.6% (13年5月時点の日本総合研究所の予想値)
(参考)13年3月末 日経平均株価：12,397.91円

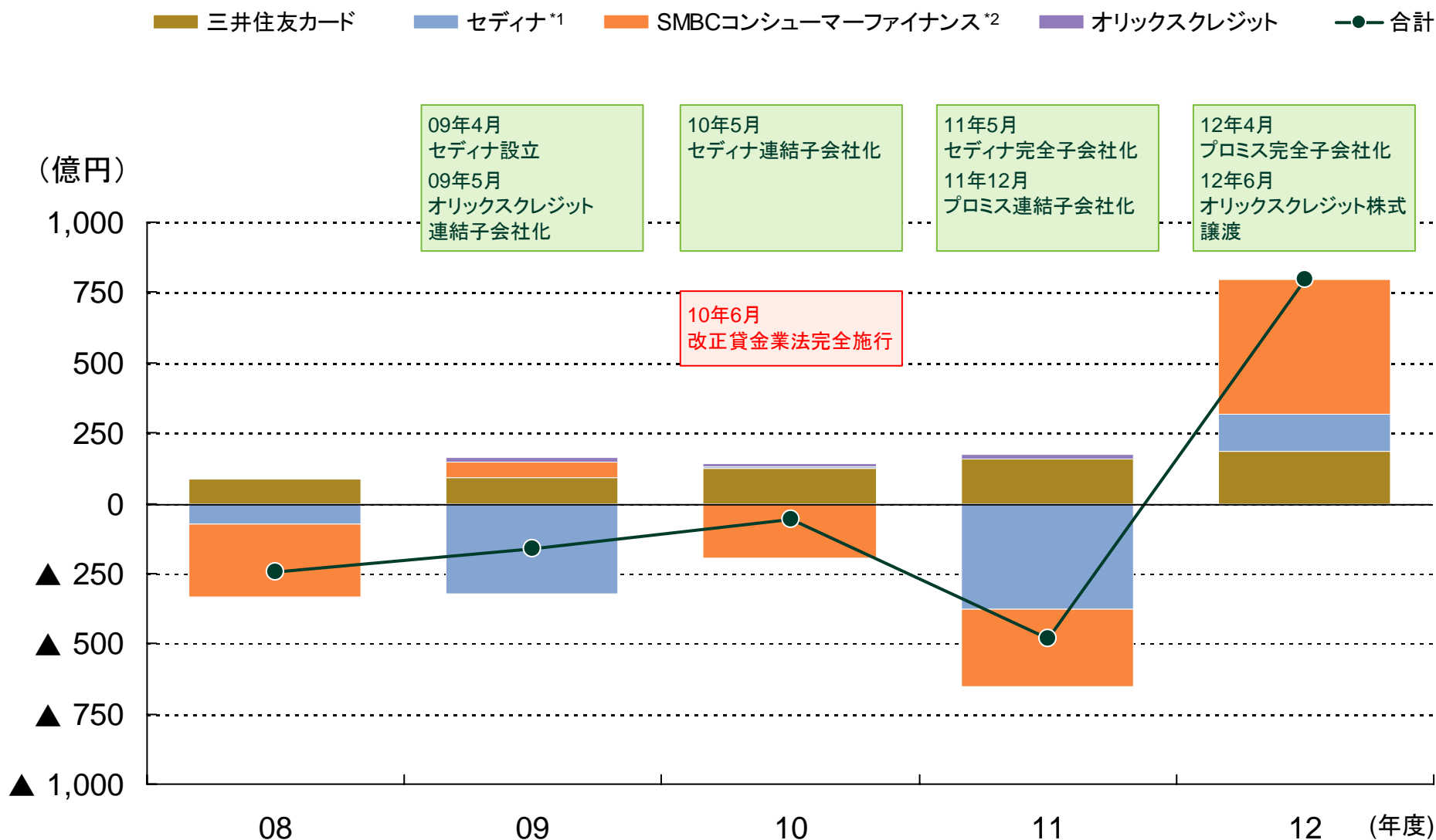
II. グループ経営の強化と経営環境

2. グループ再編実績 (1)2012年度実績

	リース業	消費者金融ファイナンス業	その他事業等
第1四半期	<ul style="list-style-type: none"> RBSグループからの航空機リース事業の共同買収を完了、SMBC Aviation Capitalとして営業開始(12/6月) 	<ul style="list-style-type: none"> 旧プロミスを完全子会社化(12/4月) オリックス・クレジット株式を譲渡(12/6月) 	<ul style="list-style-type: none"> 中郵基金(中国資産運用会社)へ出資、持分法適用関連会社化(12/4月)
第2四半期		<ul style="list-style-type: none"> 旧プロミスをSMBC消費者金融ファイナンスに社名変更(12/7月) モビットにおける合弁解消、ローン事業承継に合意(12/9月) 	
第3四半期		<ul style="list-style-type: none"> 決済代行事業の営業についてSMBCファイナンスサービスへ集約(12/10月) 	
第4四半期	<ul style="list-style-type: none"> 既存の航空機リース事業をSMBC Aviation Capitalへ統合(13/3月) 		<ul style="list-style-type: none"> 三井住友アセットマネジメント株式を追加取得(13/3月) SMBCの株主比率: 27.5%→40.0%

2. グループ再編実績 (2) コンシューマーファイナンスビジネスの利益実績

コンシューマーファイナンス会社のSMFG連結当期純利益への貢献

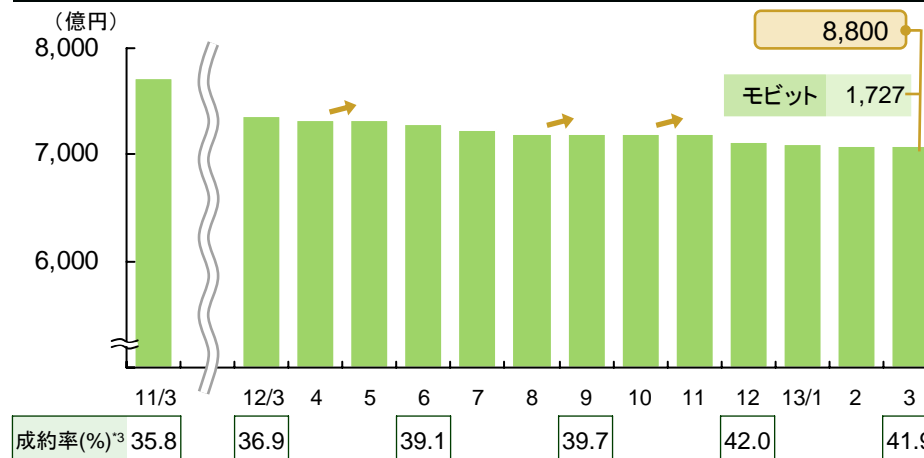


2. グループ再編実績 (3) SMBCコンシューマーファイナンス

SMBCコンシューマーファイナンス(連結)業績

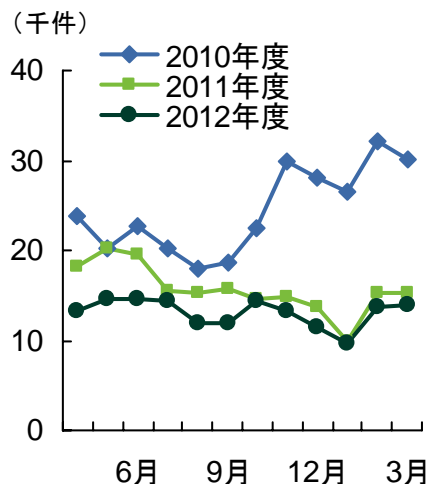
(億円)	11年度	12年度	前年比
営業収益	1,961	1,870	▲91
経常利益*1	▲1,554	518	+2,072
当期純利益*1	▲1,695	481	+2,176
営業貸付金残高	7,593	7,428	▲165
保証残高	5,815	6,596	+781
うち地方銀行等向け	1,974	2,327	+353

営業貸付金残高推移*2

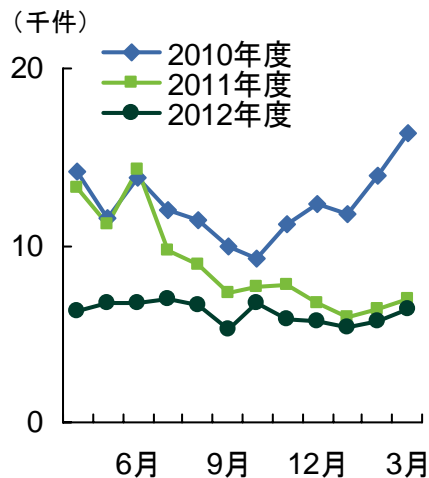


取引履歴開示と利息返還請求件数*2

取引履歴開示請求件数の推移



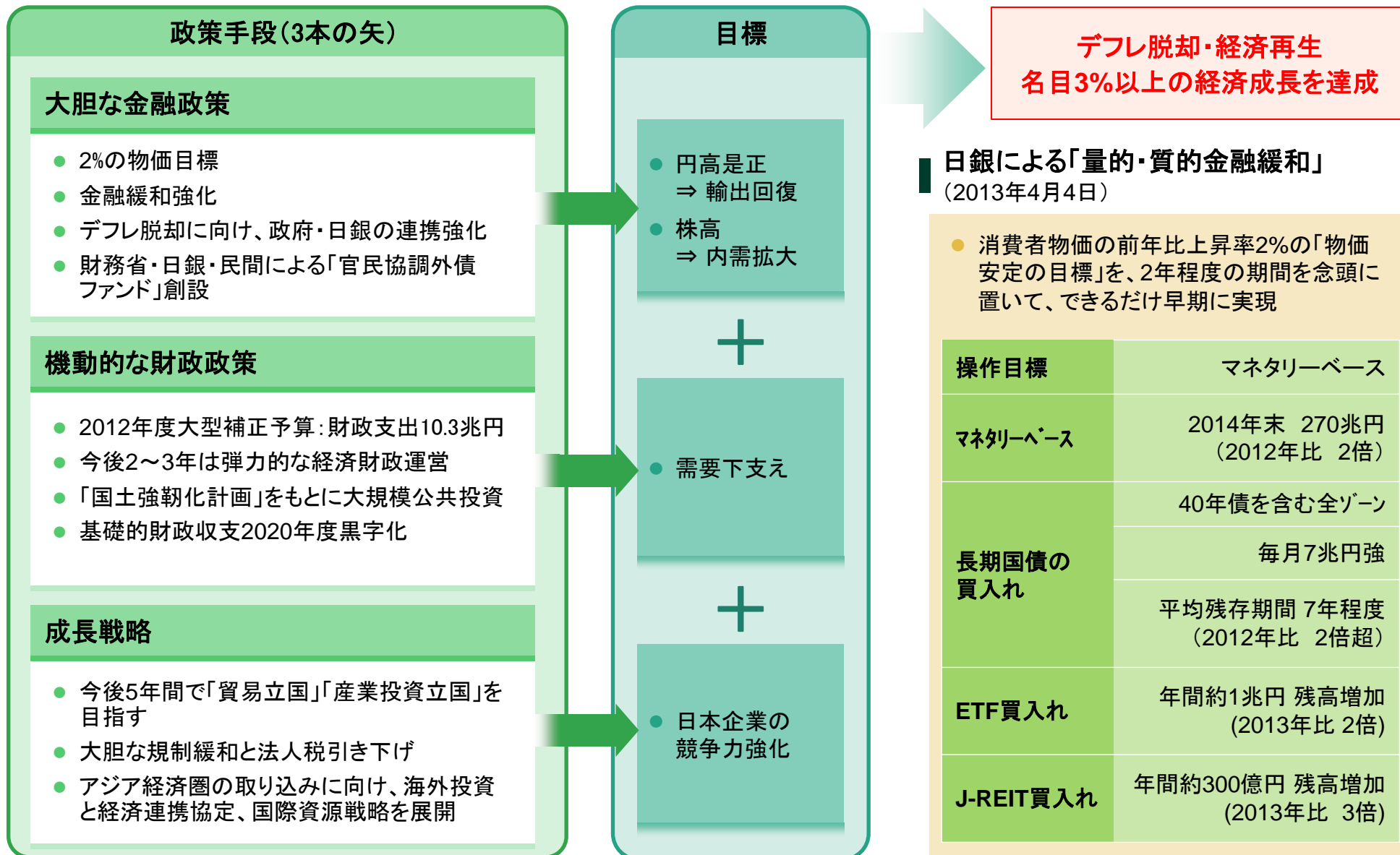
利息返還請求件数の推移



海外事業



3. 足許の日本経済・財政 (1) 「アベノミクス」と「量的・質的金融緩和」



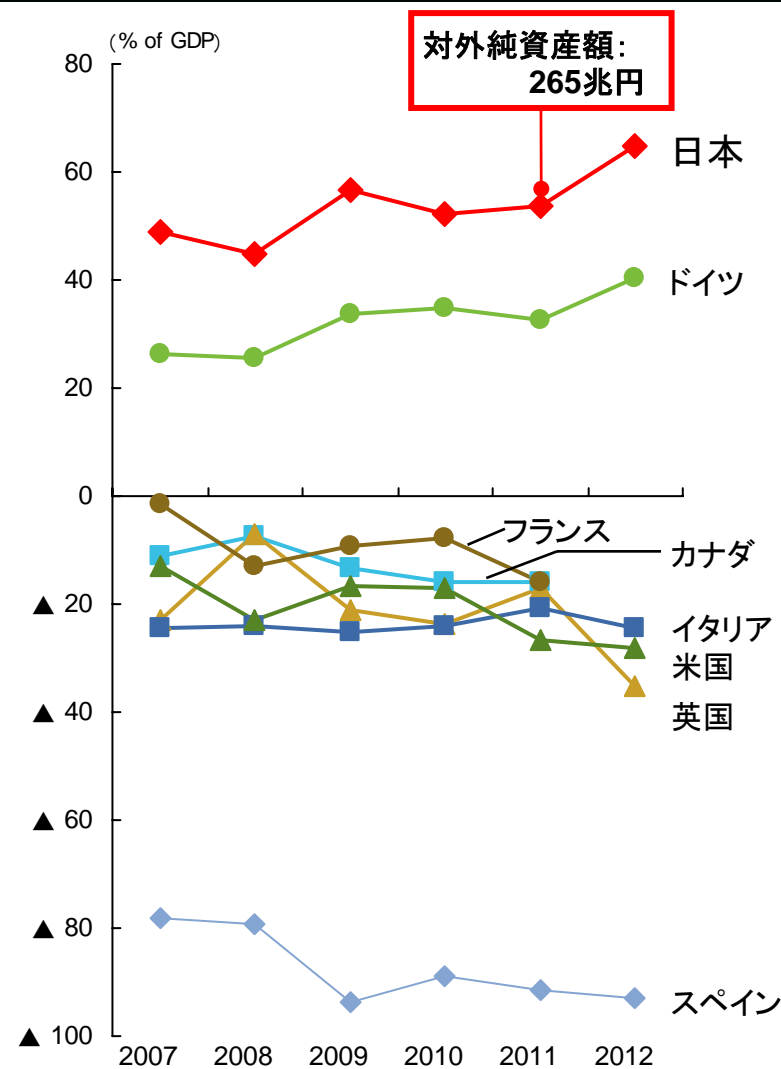
3. 足許の日本経済・財政 (2) 日本の国富

日本のバランスシート(2011/12末時点、兆円)*1

資産計	8,451	負債・正味資産計	8,451
うち 家計	2,556	うち 家計	360
金融資産	1,512	うち 非金融 法人企業	1,157
非金融資産	1,044	うち 株式	349
うち 土地	694	うち 金融機関	2,825
うち 非金融 法人企業	1,836	うち 株式	85
金融資産	816	うち 一般政府	1,096
非金融資産	1,020	負債計	5,455
うち 土地	282	正味資産計	2,996
うち 金融機関	2,885	うち 家計	2,195
うち 一般政府	1,087	うち 非金融 法人企業	678
金融資産	496	うち 金融機関	61
金融資産	5,721	うち 一般政府	▲19
非金融資産	2,730		

名目GDP比:231.5%

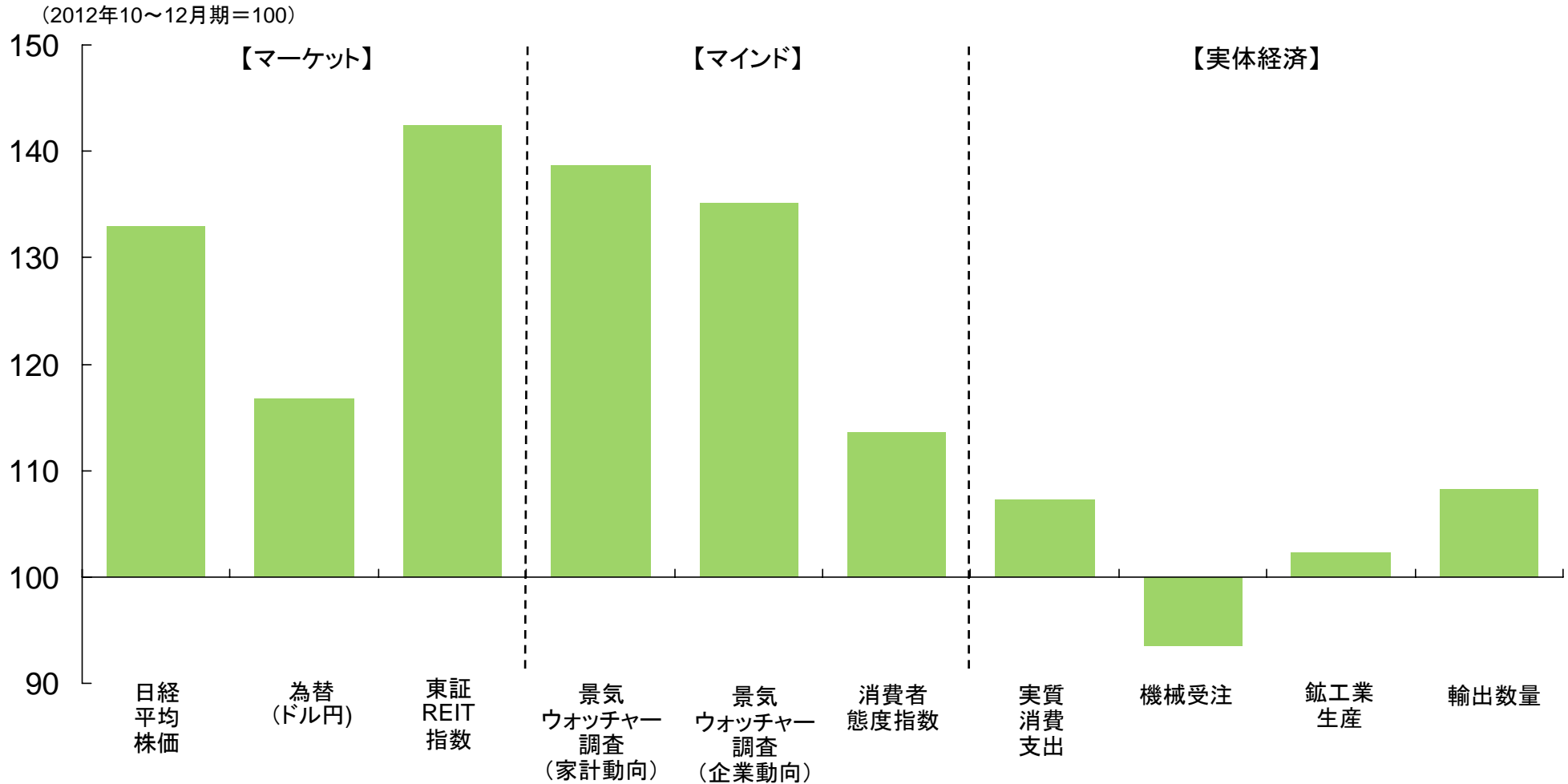
対外純資産・負債*2



*1 出所:内閣府(2013年1月) *2 出所:IMF.Stat

3. 足許の日本経済・財政 (3) 景気動向

主要金融・経済指標の変化



* 2012年10～12月期から直近への変化。直近は、日経平均株価、為替、東証REIT指数は13年3月平均値、鉱工業生産は13年2月実績値、その他は13年3月実績値

III. 事業戦略

1. 2013年度経営方針

- 日本経済再生への積極的な貢献によりSMFGの成長を実現
- 次の飛躍に向けた新たなビジネスモデルの創造・イノベーションの実現にチャレンジ

	トレンド	現状	今後の取組み
個人	<ul style="list-style-type: none"> ● 「貯蓄から投資へ」の加速 ● 「大相続時代」の到来 ● IT・ネット社会の進展 	<ul style="list-style-type: none"> ● 邦銀随一の個人向けコンサルティングビジネスモデルを確立 ● SMBC日興証券買収による強固なりテール業務基盤獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「貯蓄から投資へ」の捕捉 ⇒ 銀証一体化ビジネスモデル ● 相続・承継ビジネスの強化
法人	<ul style="list-style-type: none"> ● アベノミクスによるデフレ脱却、資金需要の回復期待 ● 大企業のグローバル展開加速、中堅・中小企業の海外進出 ● オーナー経営者の事業承継ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営課題に対する提案型ビジネスの推進 ● 中堅・中小企業の事業支援 ● 質の高いポートフォリオの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前向きな資金供給 ● グローバル展開、事業再編等への対応力強化 ● 成長分野への取組み
海外	<ul style="list-style-type: none"> ● 米国経済の復活、欧州債務危機の底割れ回避 ● アジア・新興国の高い成長率、インフラ整備ニーズ ● リーマンショック以降の邦銀のプレゼンス拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外業務の飛躍的拡大を実現 海外収益比率： 09年度：20%→12年度：30% 	<ul style="list-style-type: none"> ● トップティア企業との取引、プロジェクトファイナンス等、既存ビジネスの持続的拡大（米国FHCの活用） ● <u>アジアを含む新興国の成長捕捉</u> ⇒ 「Multi-Franchise戦略」の展開

2. 個人ビジネス (1) ビジネスモデル

強固なリテールプラットフォーム

- メガバンクと3大証券の一角が有するリテール業務のシナジーを最大限発揮

メガトレンド

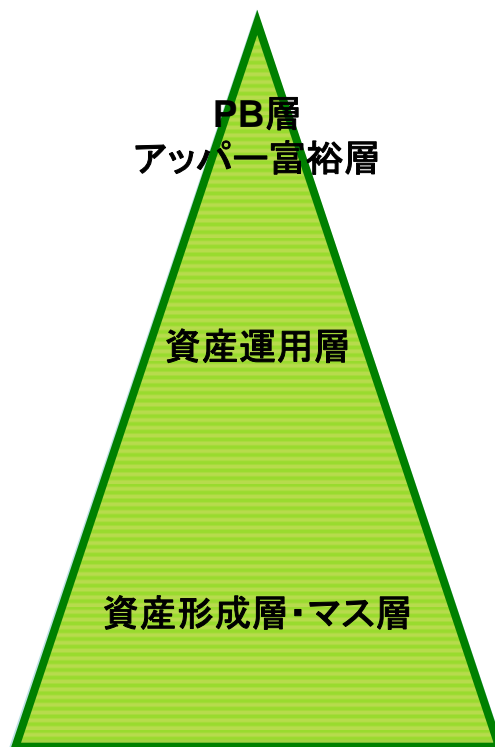
貯蓄から投資へ

- 日本版ISA

大相続時代の到来

- 資産・事業承継
- 世代間資産移転

IT・ネット社会の進展



現状

← オーダーメイド型提案

2010年6月～

バークレイズJV

← 資産運用、遺言信託、
アパートローン等

2010年4月～

証券仲介

← 住宅ローン、カードローン、
保険等

2012年10月～

バンク&トレード

← リモート取引

今後の取組み

銀証一体化

相続・承継
ビジネス

- 個人預かり資産 70兆円弱
- コンサルタント 5,000人規模
- 拠点 全国約600拠点



三井住友銀行



SMBC日興証券

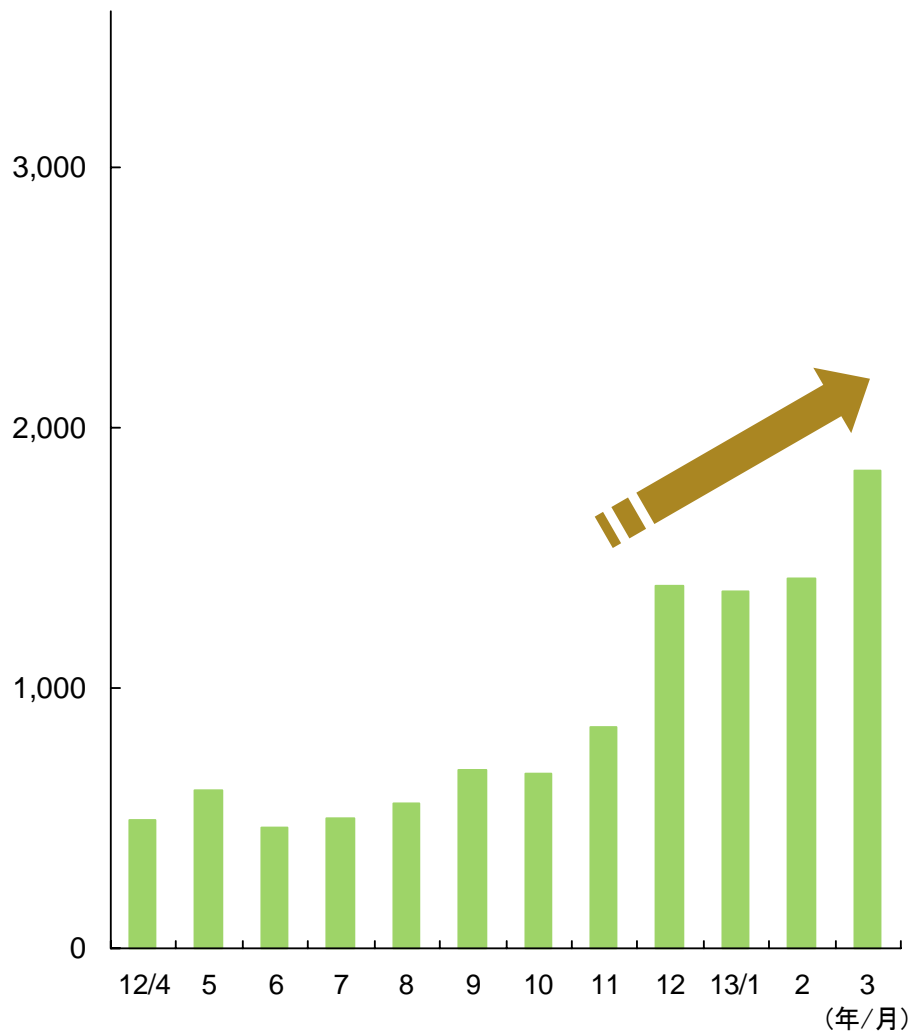


SMFG 三井住友フィナンシャルグループ
SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GROUP

2. 個人ビジネス (2) 投信販売額

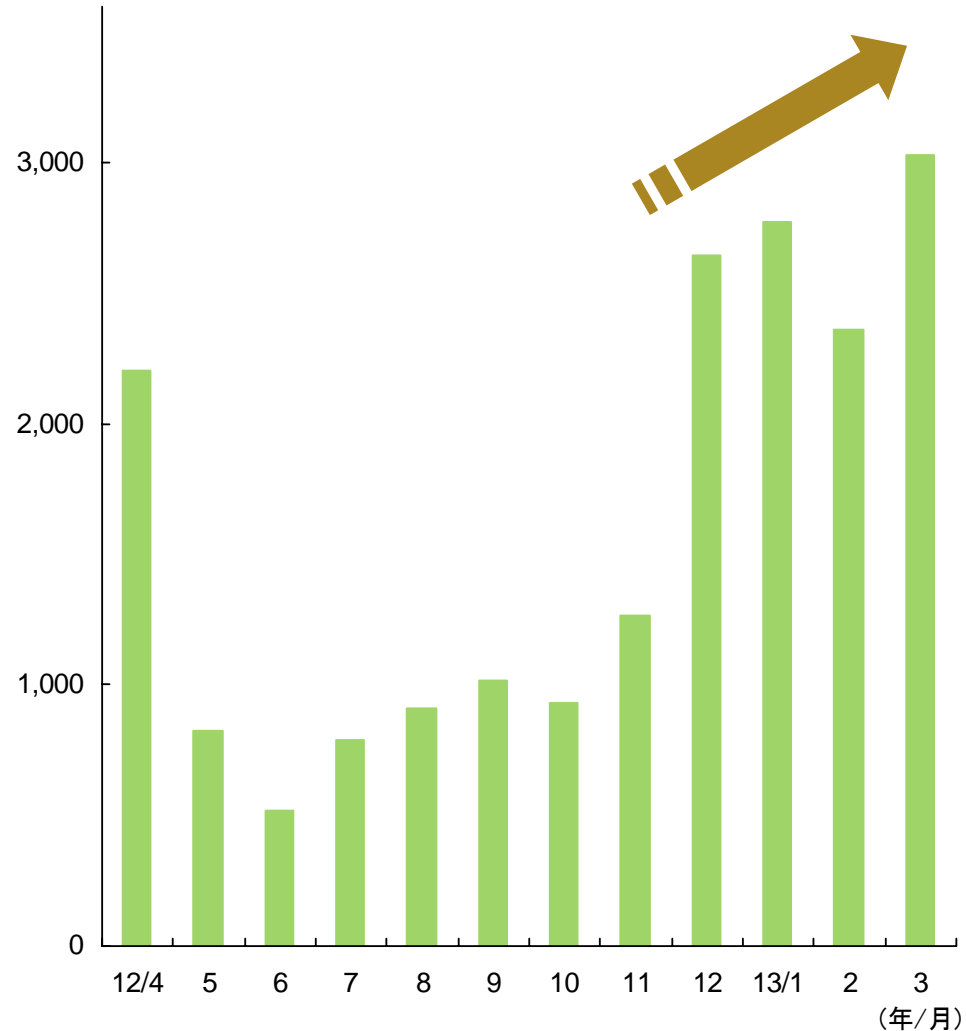
SMBC(個人部門)

(億円)



SMBC日興証券(リテール)

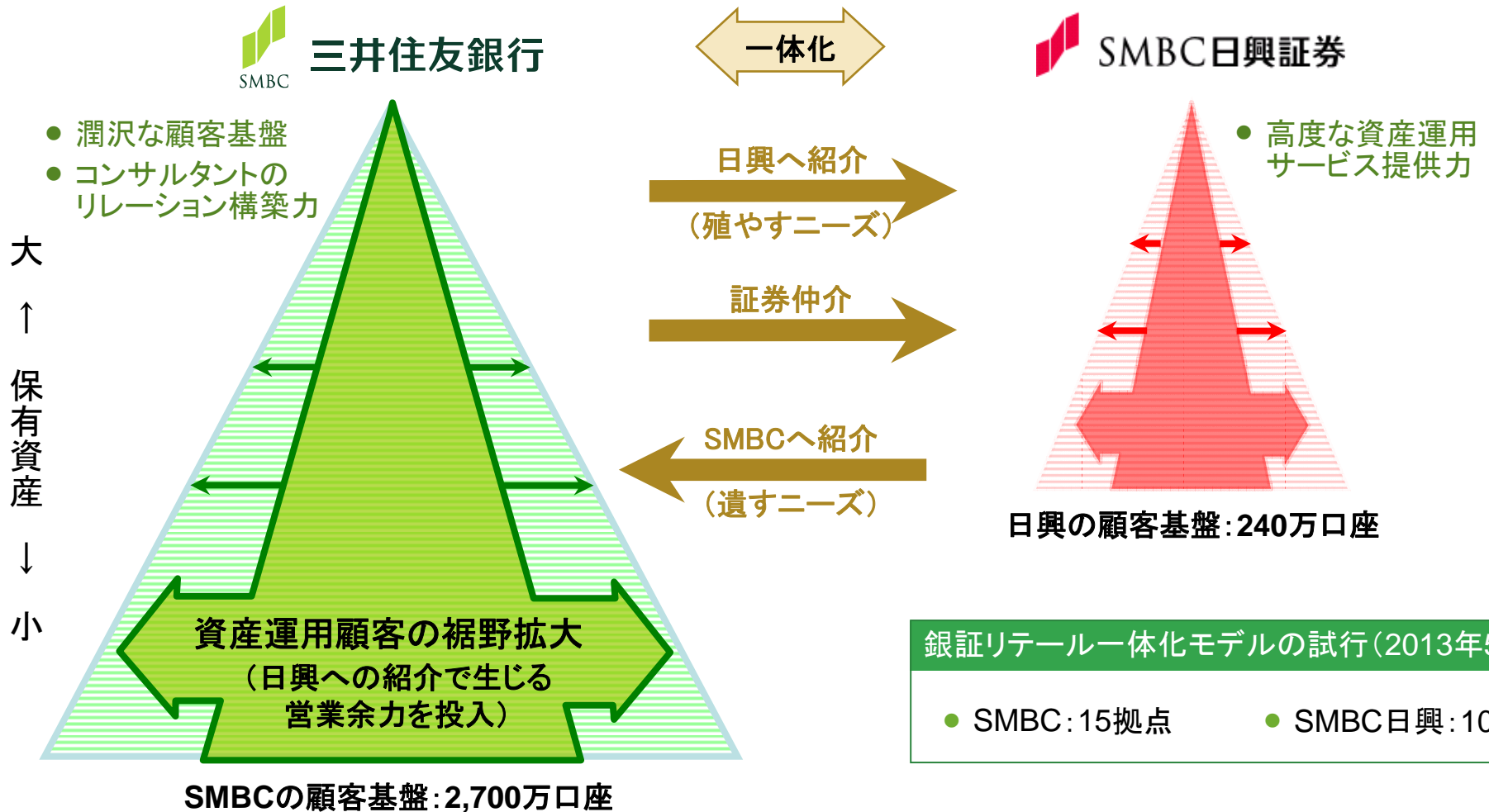
(億円)



2. 個人ビジネス (3) 銀証一体化

銀証リテール一体化ビジネスモデルの概念図

- SMBCまたは日興のお客さまに、SMBCと日興が一体となって最適なサービスを提供
- SMBCから日興へ紹介することでSMBCで生じた営業余力を、お客さまの裾野拡大に投入



銀証リテール一体化モデルの試行(2013年5月～)

- SMBC: 15拠点
- SMBC日興: 10拠点

2. 個人ビジネス (4) 相続・承継ビジネス

相続関連サービスに係る体制強化(13年度)

- 相続ビジネスの専任アドバイザーの新設(予定)により、フロントの相続ビジネス対応力を強化
- 資産承継及び遺言信託・遺産整理サポート機能をプライベート・アドバイザリー部に集約、本部サポート体制を強化(約100名→約170名)

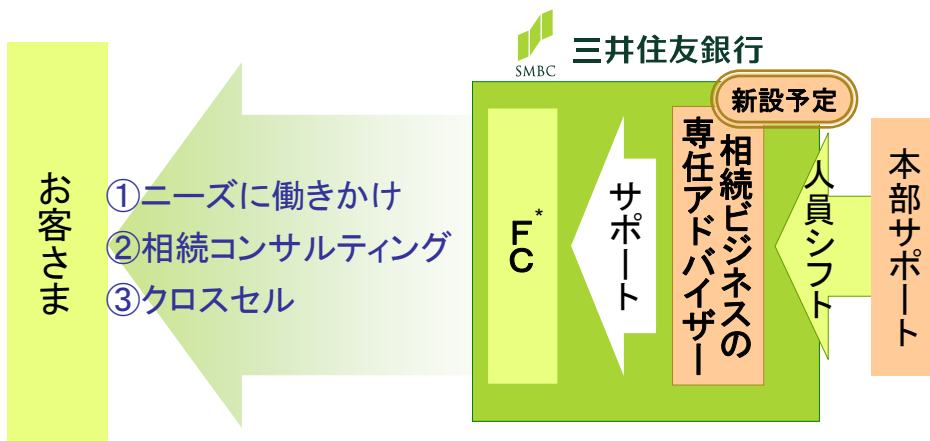
相続・承継ビジネスへの取組み

- 遺言信託業務
 - 2005年2月 業務開始
- 遺産整理業務
 - 2006年4月 業務開始
(提携信託銀行への媒介がメイン)
 - 2013年2月 SMBC本体で取扱開始

取組み体制

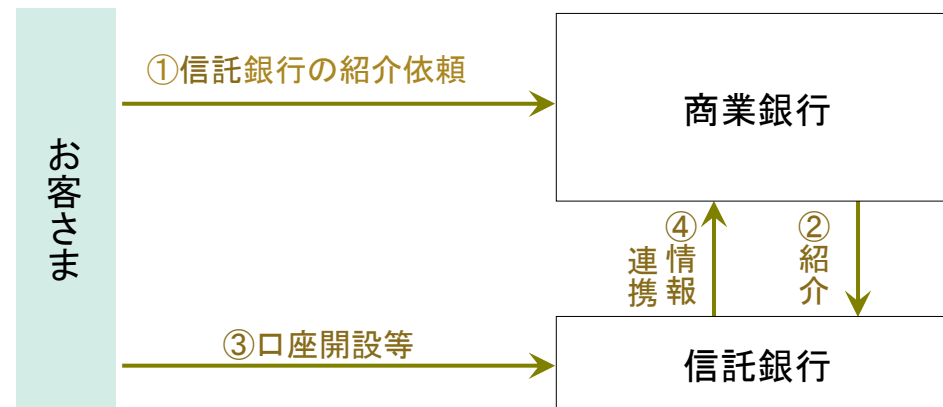
- ニーズの捕捉からコンサルティング、クロスセルまで、信託機能も活かし、SMBCがワンストップでサービスを提供

SMBCの相続コンサルティングフロー

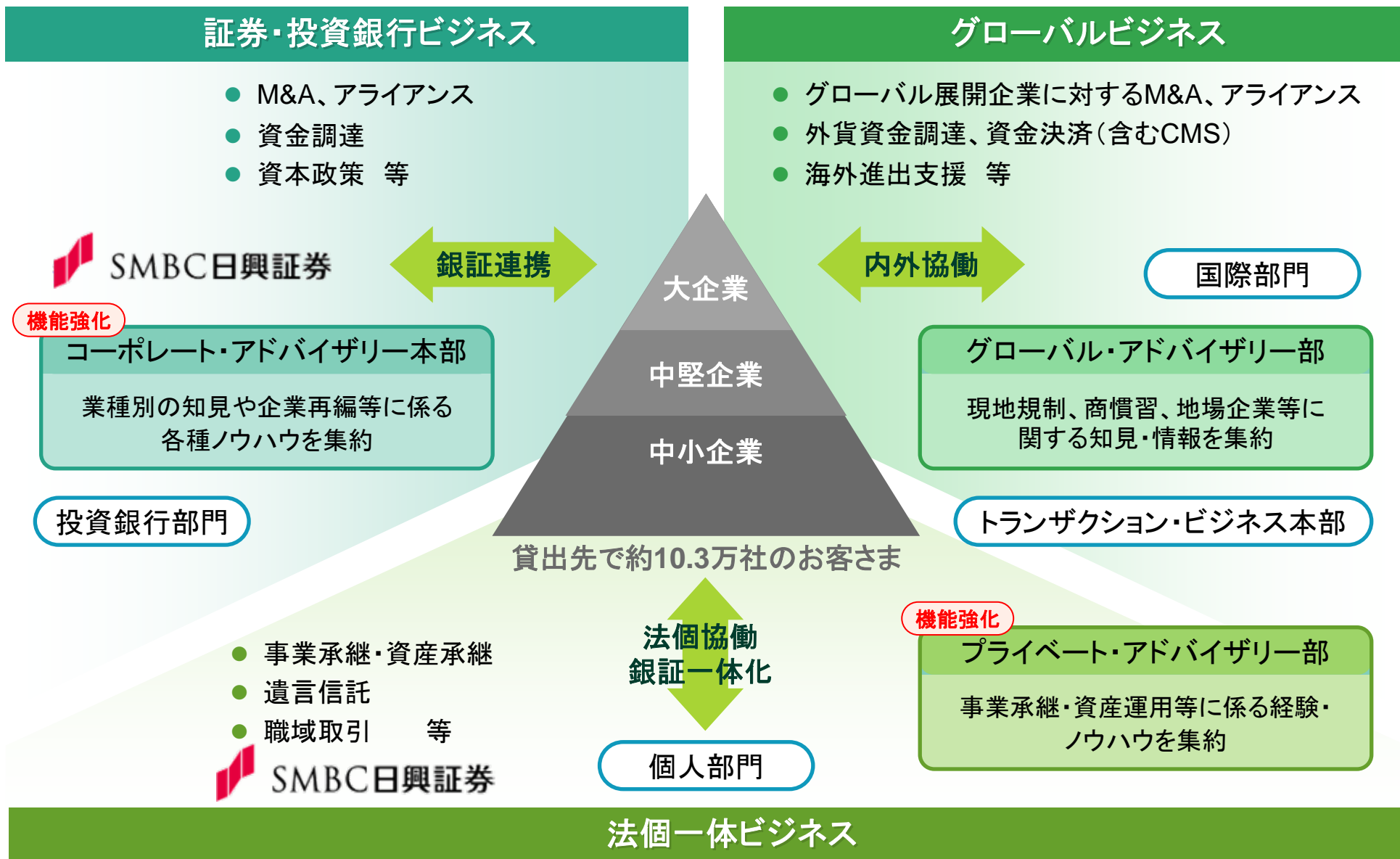


* ファイナンシャルコンサルタント

(参考) 信託銀行を傘下にもつ場合



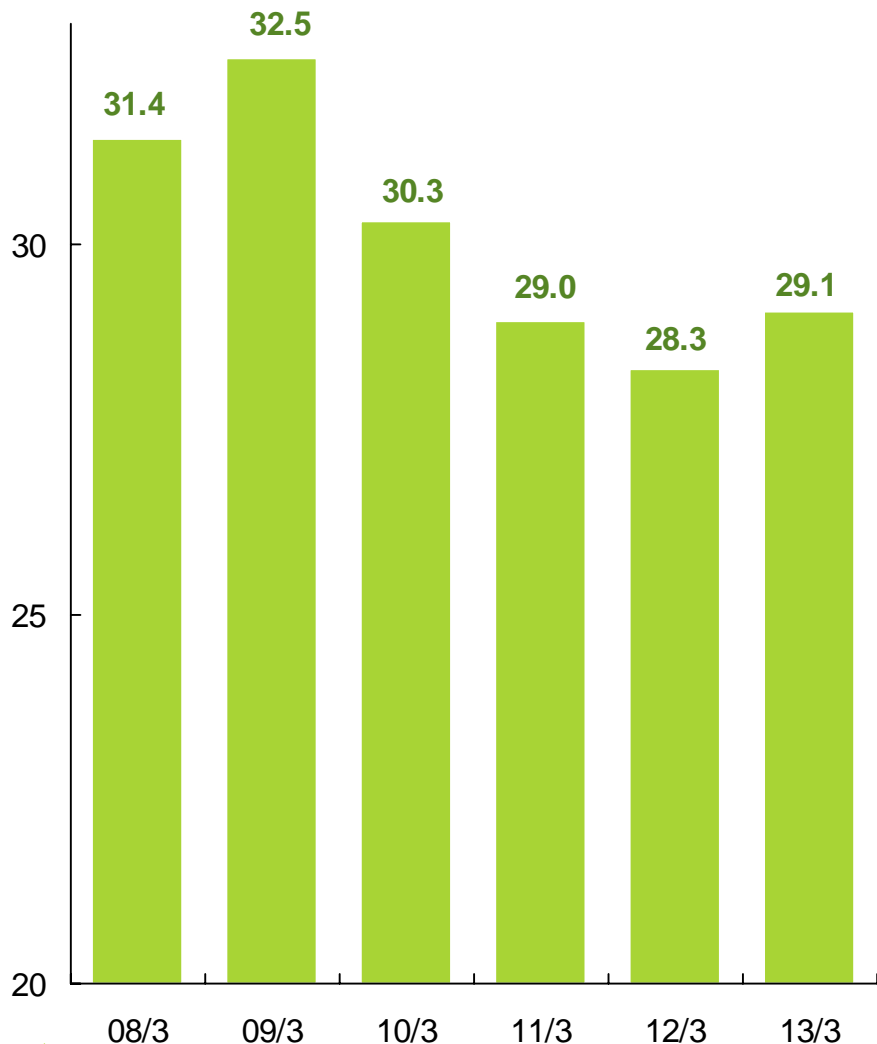
3. 法人ビジネス (1) ビジネスモデル



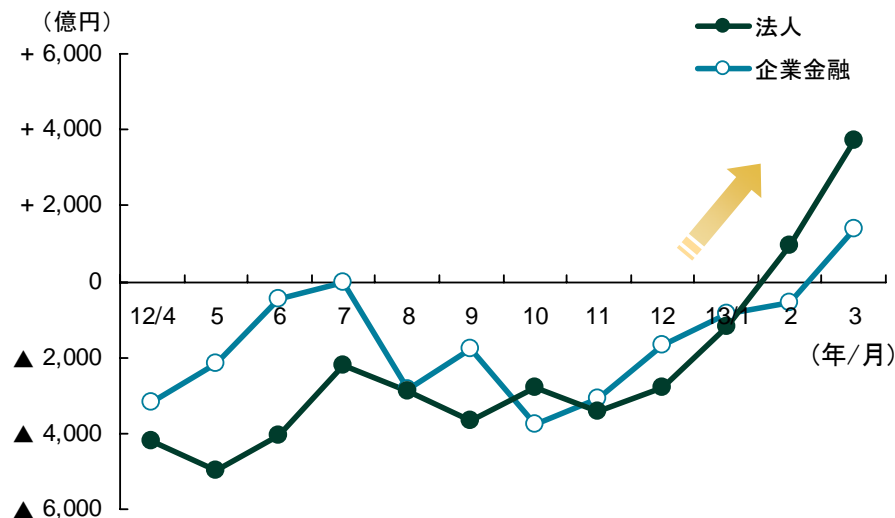
3. 法人ビジネス (2) 貸出、手数料ビジネス

法人部門+企業金融部門 貸出金残高

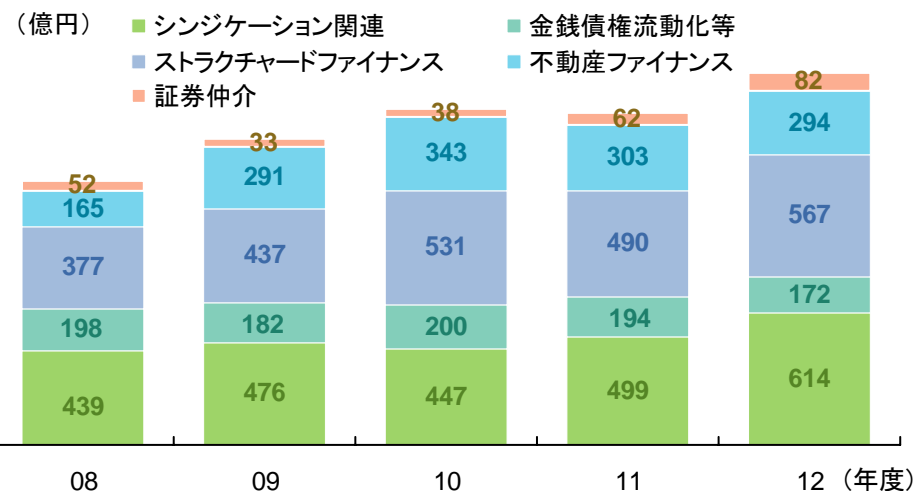
(兆円)



貸出金平残の前年同月比(法人及び企業金融)



投資銀行ビジネス関連収益



3. 法人ビジネス (3)-1 貸出ビジネスの強化

足許での企業の動き・景気認識

大企業	自動車メーカー	✓国内生産台数を従来計画より上積み。米国でも増産の方針。
	重機メーカー	✓半導体製造用ロボットの生産能力を引き上げ。
	不動産	✓マンションは新築・中古ともに資産効果が出始めている。
中堅・中小企業	百貨店	✓株価の上昇に伴い、美術品や宝飾品などの高額商品が好調に売れている。
	食品	✓円安で原価上昇。日用品の消費マインドは回復しておらず、価格転嫁には、半年から1年かかる。
	部品メーカー	✓各種見積りが入るようになってきたが、実際の受注はもう少し先になりそう。
	輸送業	✓荷動きは改善しつつあるが、燃料高騰の影響で景気が回復しているという実感はない。

前向きな変化を金融面でサポート

貸出増加に向けた取組み

体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 新CA本部に業種知見を集約、海外駐在を配置。個社に係る知見を融合することで、グローバルベースでの戦略的な提案機能を強化 ● 中堅・中小企業向け総合的なソリューション提案の営業店サポート機能を「法人戦略部」に集約 ● サプライチェーンファイナンスの取組体制拡充 ● 法個一体運営の推進(次頁)
業務推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 成長分野に対する取組(次頁) ● 日銀の貸出支援基金の活用 ● 新規先、他行競合が厳しい先に弾力的な金利対応
与信運営	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種によらず、個社のリスクをより見極め ● 業績改善先への積極的なアプローチ ● 稟議・モニタリングの効率化、合理化

3. 法人ビジネス (3)-2 貸出ビジネスの強化

成長分野への取組み

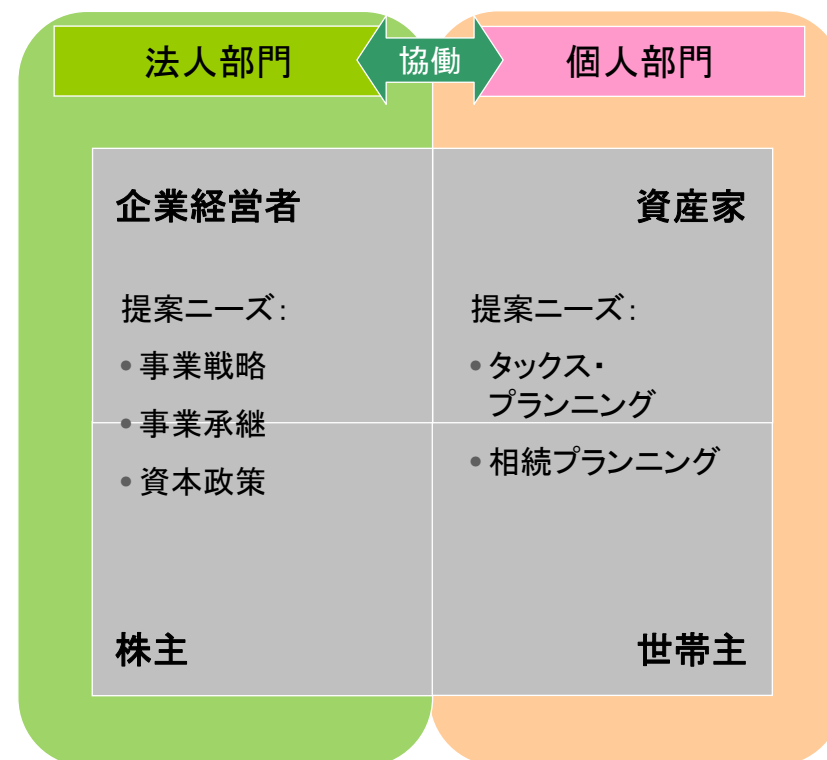
農業分野	<ul style="list-style-type: none"> ● エクイティファンド検討 ● SMFGグループ一体となったコンサルティングビジネス ● お客さまの海外展開支援
医療・介護分野	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生医療・医療機器向けエクイティファンド検討 ● 介護施設向け貸出
環境・水分野	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外のインフラファイナンス
再生可能エネルギー分野	<ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電事業関連貸出 ● SMFGグループ一体となった取組み

評価型融資

- 「環境配慮」「サステイナブルビルディング」「食・農」「事業継続」を評価し貸出
- ESG(環境・社会・ガバナンス)への取組み、統合報告書による情報開示等を評価し貸出
- 海外における評価型融資取組み
(12年度はマレーシアで第一号案件実行)

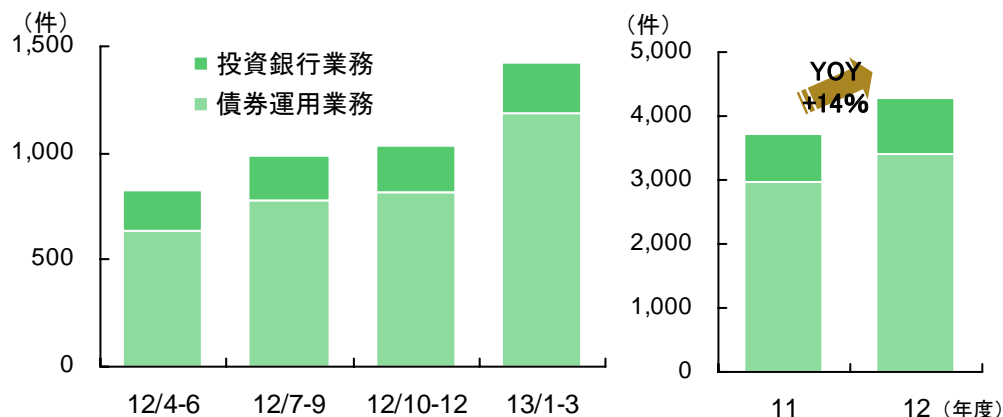
法個一体運営

- 事業承継、資産承継、遺言信託関連のアドバイスを行う機能をプライベート・アドバイザリー部に集約
- 相続・承継ビジネスの取組店を拡大

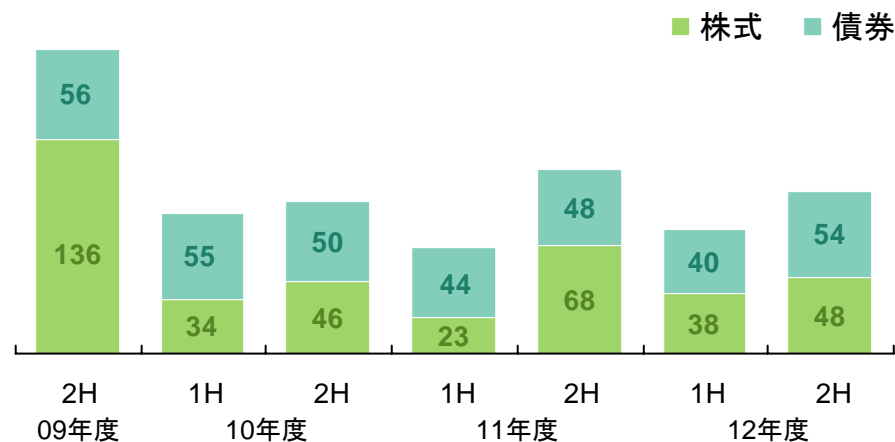


3. 法人ビジネス (4) 銀証連携

SMBCからSMBC日興証券への紹介件数



引受関連手数料 (SMBC日興証券)



リーグテーブル (12年4月-13年3月、SMBC日興証券)

	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額) ^{*1}	4位	11.9%
円債総合 (主幹事、引受金額) ^{*2}	5位	11.1%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、取引金額) ^{*3}	4位	17.8%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数) ^{*3}	5位	2.6%

トピックス (SMBC日興証券)

- シンガポールで、日本株ブローカレッジ、M&Aアドバイザー業務を開始(12/10月)
- 日経ヴェリタスによるアナリストランキング(会社別)^{*4}で2位を獲得
- Institutional Investor誌「The 2013 All-Japan Research Team」企業別ランキングで5位にランクイン

*1 出所: トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成(日本企業関連、グループ合算ベース)

*2 出所: SMBC日興証券(事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債) *3 出所: トムソンロイター(日本企業関連公表案件(不動産案件除外))

*4 出所: 日経ヴェリタス(2013年3月24日付)

(参考) SMBC日興証券(連結)業績

SMBC日興証券(連結)業績

(億円)	11年度	12年度	前年比
純営業収益	2,288	2,747	+459
販売費・ 一般管理費	▲1,851	▲2,002	▲151
経常利益	445	757	+312
当期純利益*1	194	457	+263

中期経営計画(2013年度~2015年度)

- 中期経営計画を公表(13年4月)
 - 「体制構築」ステージから「成長」ステージへ
 - 基本的な考え方:「スピード&スケール」
 - 成長戦略の推進により国内外の金融・証券市場における存在感の飛躍的向上を図る
 - 計数計画(2016年3月期、SMBC日興証券)*2
純営業収益:3,300億円、経常利益:1,000億円
 - 施策
 - リテール部門:積極的な資源投入、銀証一体化戦略による顧客基盤拡大
 - ホールセール部門:競争力あるフロント体制の実現、経営資源の積極投入によるセールス&トレーディングの収益力向上、銀証連携・アライアンスを活用した選別的・効果的な海外業務拡大
 - その他:経営インフラ高度化、システム・人材の戦略的投入、人材育成スピードアップ

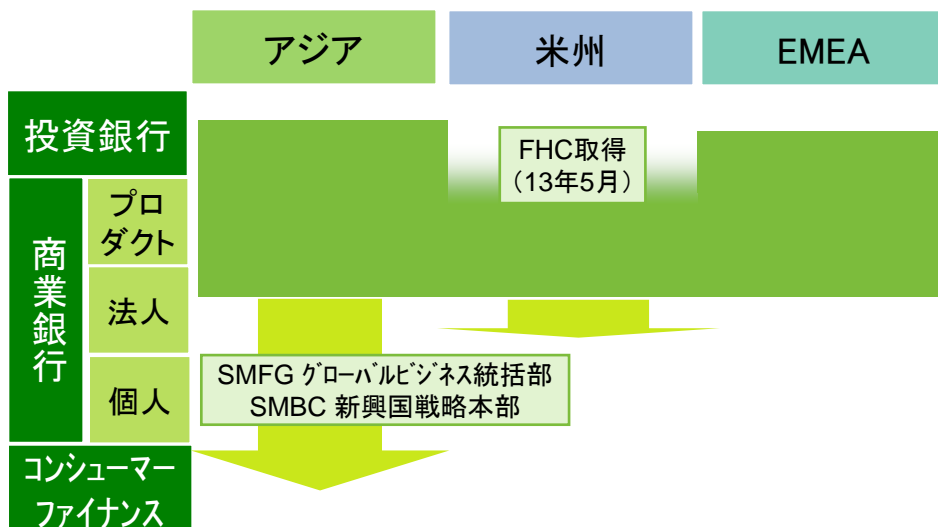
(億円)	12年度 1Q	12年度 2Q	12年度 3Q	12年度 4Q
純営業収益	552	532	665	996
販売費・ 一般管理費	▲458	▲459	▲492	▲592
経常利益	98	74	174	409
当期純利益	39	27	122	268

2012年度第4四半期単独の純営業収益、経常利益、当期純利益のいずれも、SMFGグループ入り後最高

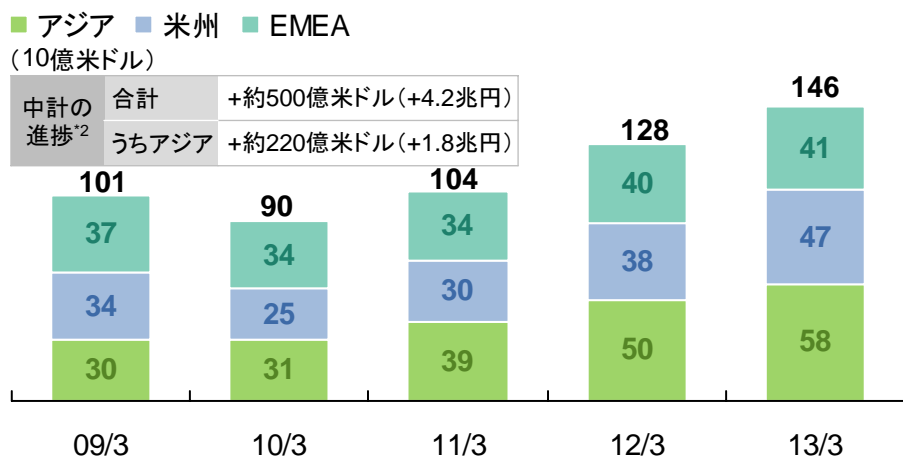
*1 2011年度は法人税率の引下げ等の税制改正影響▲48億円を含む *2 内部管理ベース。SMBC日興証券単体及び海外(ロンドン、ニューヨーク、香港、シンガポール)の合算

4. 海外ビジネス (1) 概要

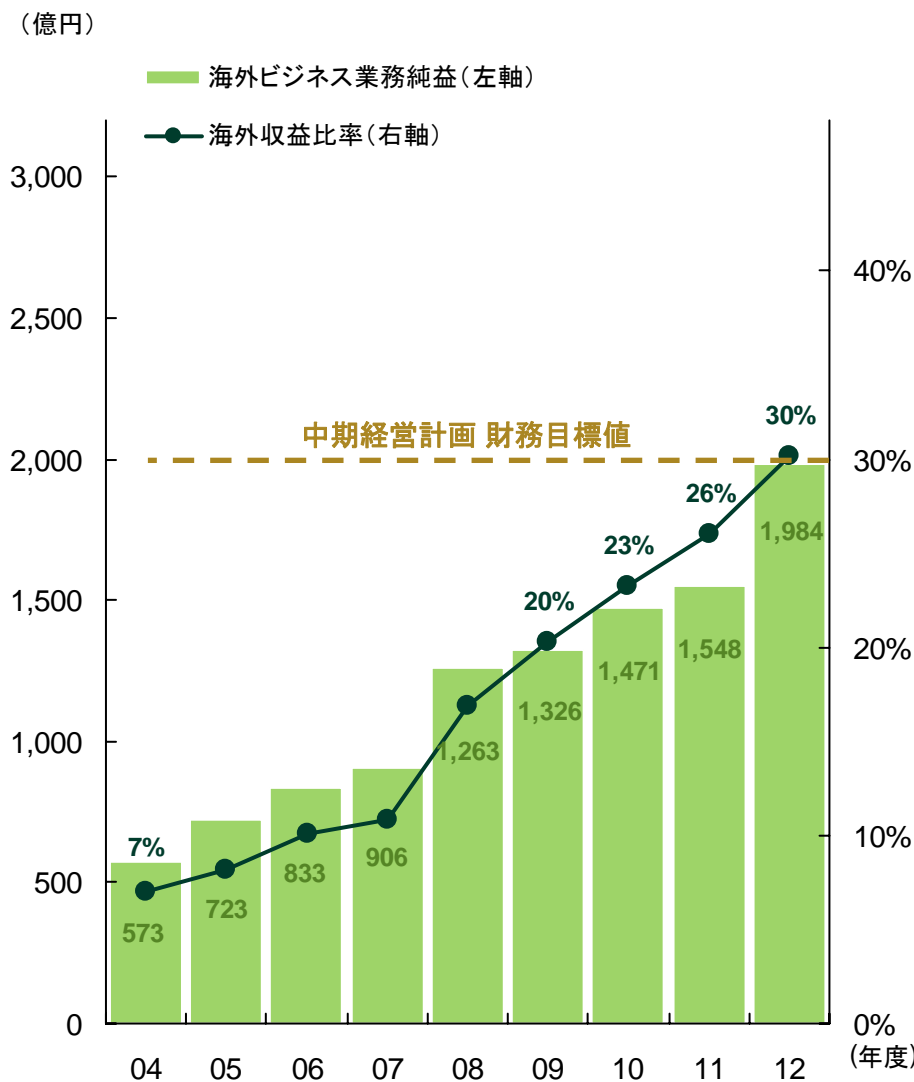
当社グループの海外ビジネス(イメージ)



海外貸出金残高*1



海外ビジネス業務純益、海外収益比率推移*3



*1 内部管理ベース(各期末実績レートにて換算)。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算

*2 貸出金・貿易手形・有価証券の合計値の11/3末比進捗。中期経営計画前提の1ドル=85円にて円換算

*3 内部管理ベース。SMBC、海外主要子銀行の合計。11年度以降の海外収益比率は、中期経営計画前提の1ドル=85円ベース

4. 海外ビジネス (2) 強みを持つプロダクツ

プロジェクトファイナンス

- プロジェクトファイナンス専門誌として最も権威のある「Project Finance International」誌より、「Global Bank of the Year」を受賞
- 専門性の高い部隊がマンデートの獲得に注力
- 顧客企業及び、ECAとのリレーションを活かし、非日系企業スポンサー案件にも取組



リーグテーブル(2012年1-12月)*1

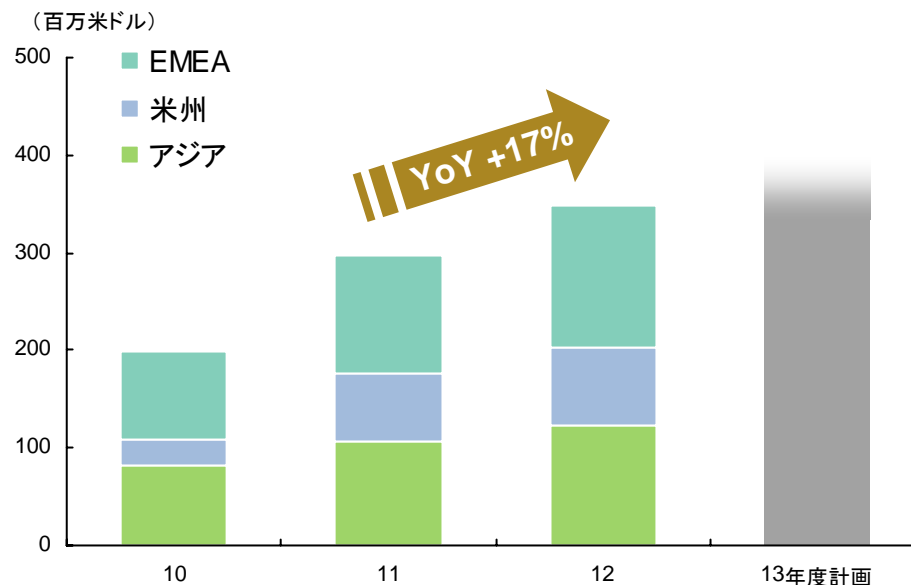
	グローバル	アジア*2	日本
プロジェクトファイナンス	3位	5位	
シンジケートローン	7位	1位	2位

*1 出所:トムソンロイター(マンデーティッド・アレンジャー)

*2 プロジェクトファイナンス:アジア大洋州
シンジケートローン:アジア(除く日本)、国際通貨取引

*3 出所:「ASIAMONEY」誌キャッシュ・マネジメント・サービス調査12/8月号

トレードファイナンス関連収益



キャッシュ・マネジメント・サービス

顧客アンケート調査 (アジア・パシフィック総合ランキング)*3



4. 海外ビジネス (3) 成長産業クラスター室

成長産業クラスター室

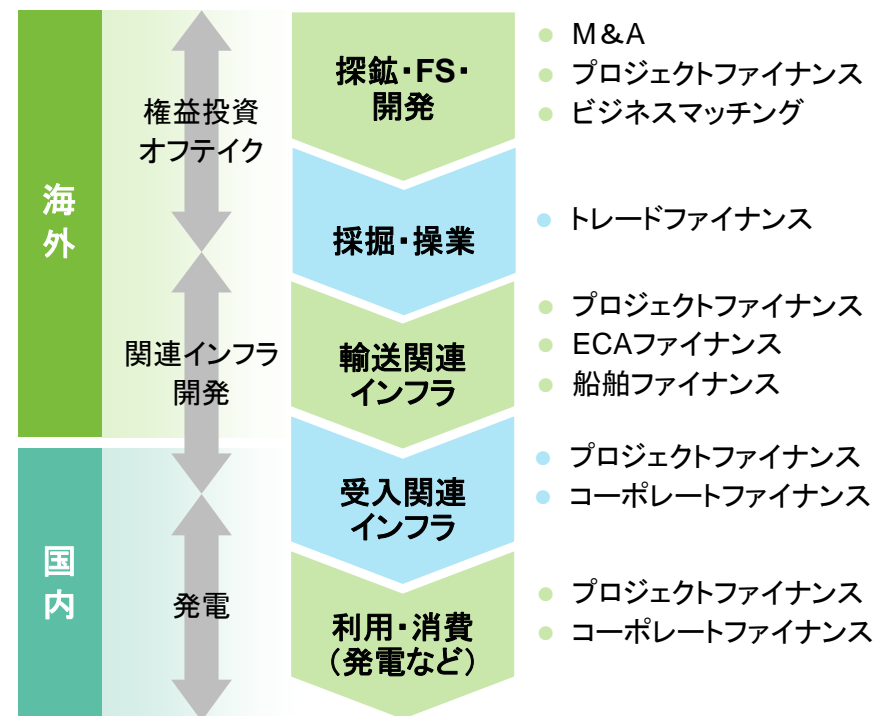
再生可能エネルギー	太陽光、風力等
水	水道事業、再生水、海水淡水化等
環境インフラ	スマートシティ、省エネ設備等
資源	石炭、天然ガス等
ヘルスケア	医療、介護等
農業	海外展開等

例 新興国マーケットへのアプローチ

技術力のある日本企業、地方自治体等を
コンソーシアム化し、アジア・新興国の成長をサポート

- インド: デリームンバイ大動脈構想
- ベトナム: 水道事業、都市開発、電源開発
- マレーシア: 環境都市事業
- タイ: 工業団地高度化
- モンゴル: 送配電網の改修・新設
- 中国: ヘルスケア、環境都市

例 エネルギー関連ビジネスへのアプローチ

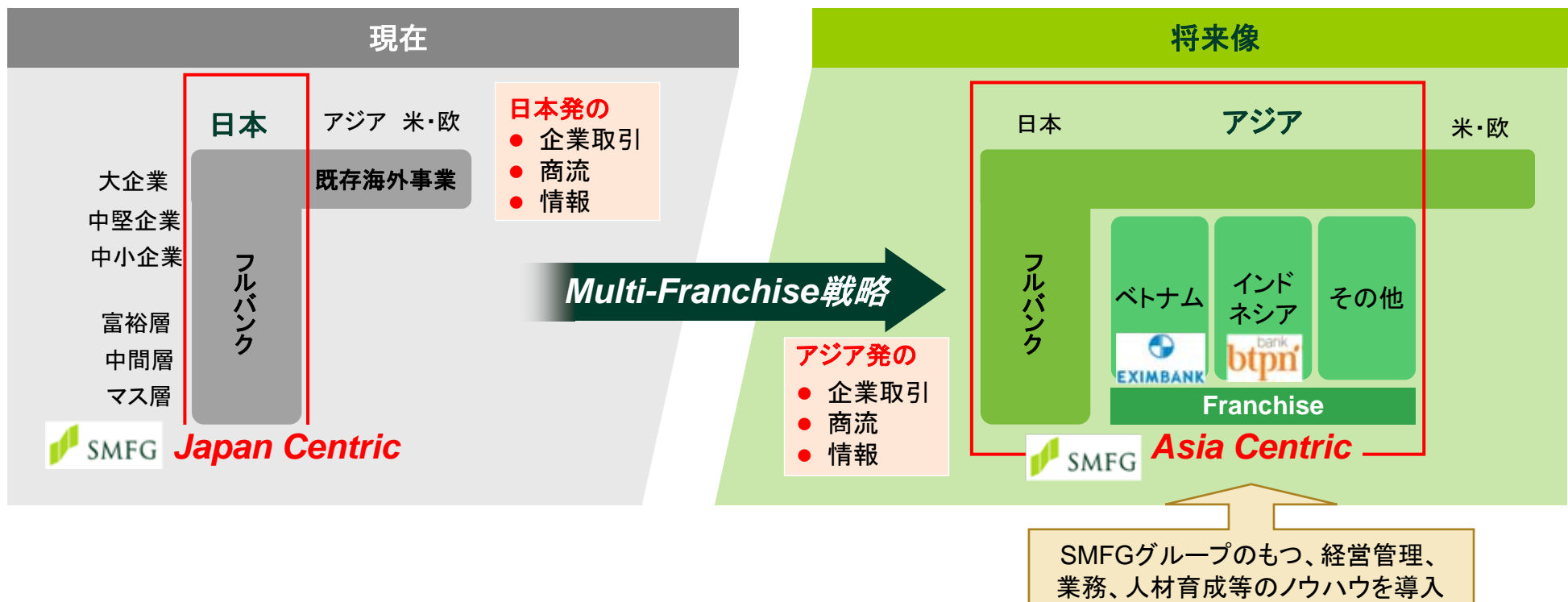


三井住友銀行	● 顧客リレーション ● ファイナンス
日本総研	● コンサルティング
SMBC日興証券	● M&Aアドバイザー ● 株式・社債引受
三井住友ファイナンス&リース株式会社	● ファイナンスリース ● オペレーティングリース

4. 海外ビジネス (4)-1 Multi Franchise戦略

- 「日本のメガバンク」(Japan Centric)から、「アジアをマザーマーケットとしつつ、グローバルに展開する複合金融グループ」(Asia Centric)へ

- 2013年4月 SMFGにグローバルビジネス統括部、SMBCに新興国戦略本部を設置



4. 海外ビジネス (4)-2 Bank Tabungan Pensiunan Nasional Tbk PT宛出資

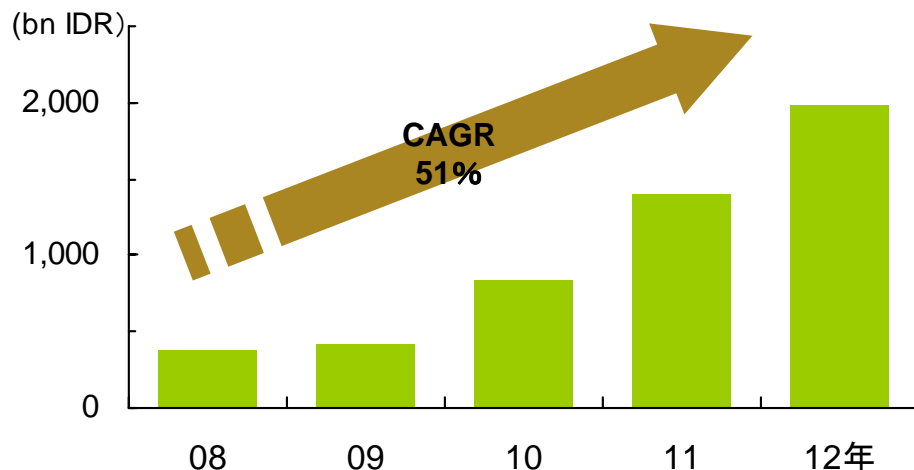
出資概要

- 出資総額: 約15億米ドル
(5月10日時点で約920億円、1株当たり6,500ルピア。
40%出資で1,500億円程度となる見込み)
- 対価は米ドル建てで支払い、資金繰りの中で対応
- 保有割合: 13年5月10日 SMBC 24.26%
SMBCは当局の認可を前提に40%まで出資し、
持分法適用関連会社とする計画
- RORAは3年後に1.0%超を展望

BTPN概要

- 1958年に軍人年金の取扱い金融機関として設立。
2008年にTPGが71.6%取得
- 資産規模で16位、時価総額で7位の中堅銀行
- インドネシア証券取引所上場: IDX ticker “BTPN”
時価総額(13年5月8日): 332,896億ルピア
(3,260億円相当)
- 格付(Fitch): AA- (インドネシア国内格付)

税引後利益



* 為替レート(13年5月8日時点) 1000IDR=JPY10.2、USD0.1

運用



年金ビジネス

年金受給者向けローン



事業性個人ビジネス

市場の商店主向けローン

調達



預金ビジネス

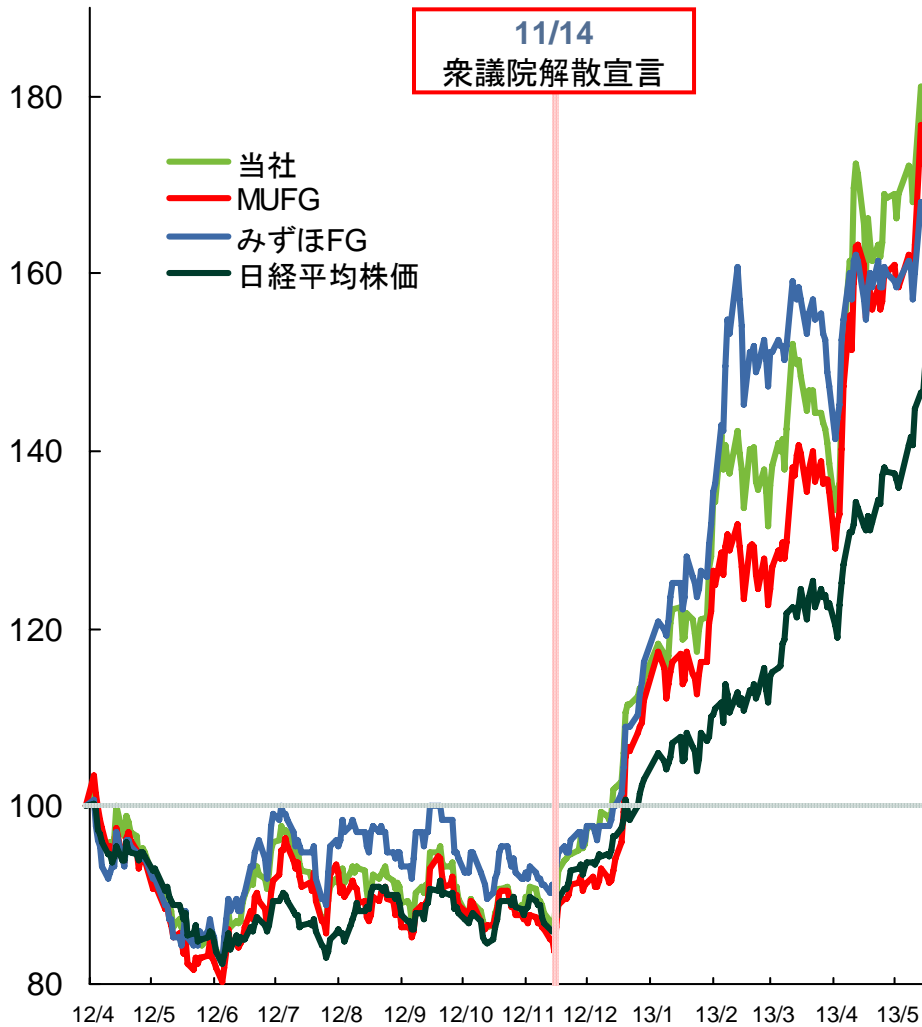
富裕層向け

Appendix

メガバンク株価、JGB利回り推移

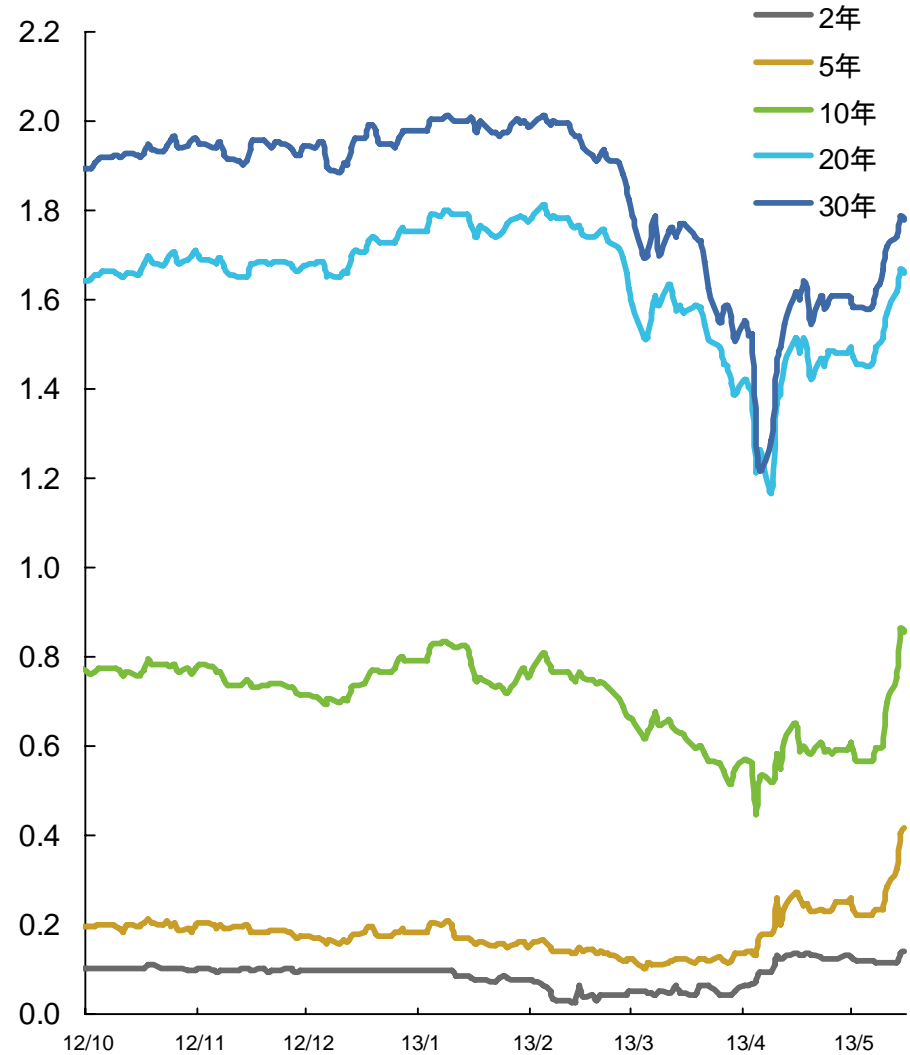
邦銀株価推移

(2012/3月末=100)



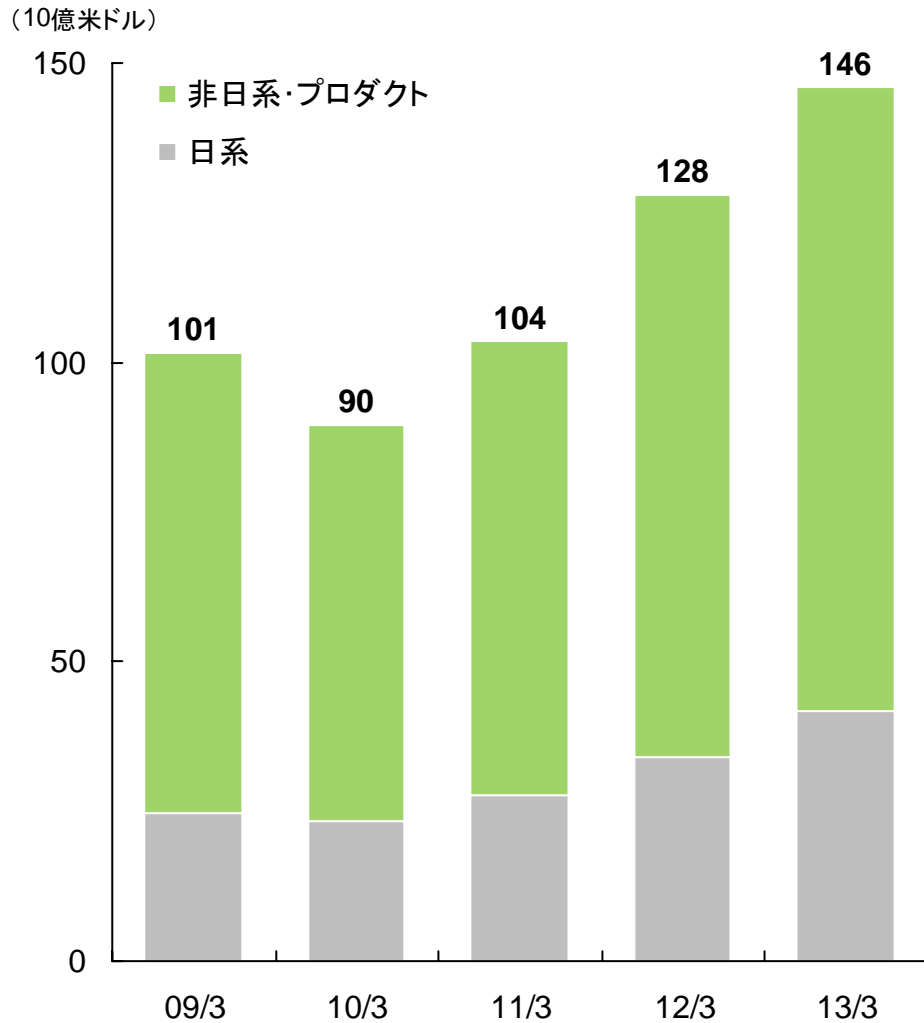
JGB利回り推移

(%)

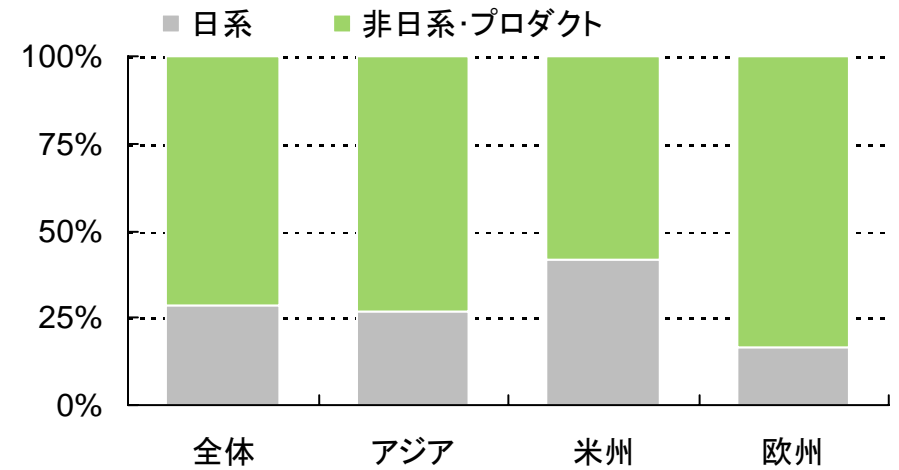


海外貸出金の顧客別構成(拠点ベース)*

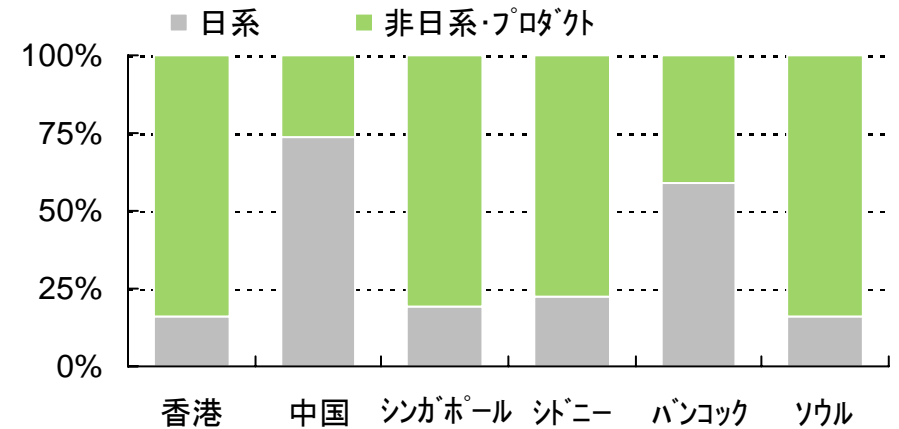
全体



地域別(13/3月末)



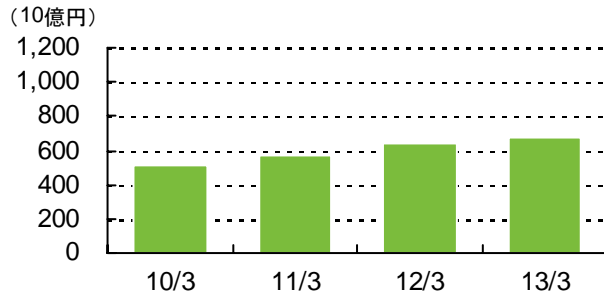
アジア主要拠点(13/3月末)



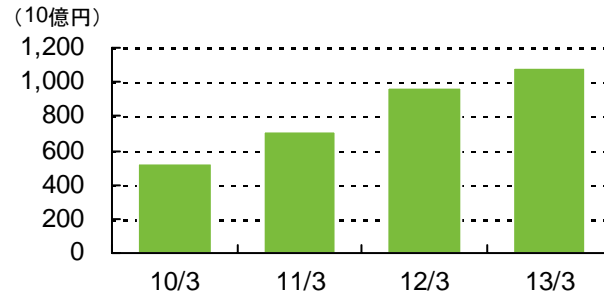
* 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算。

アジアの主要国別貸出金残高(債務者所在国ベース)*

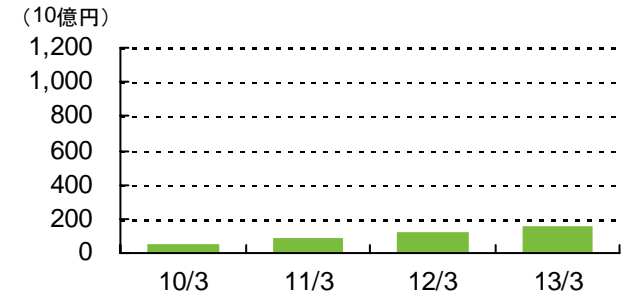
中国



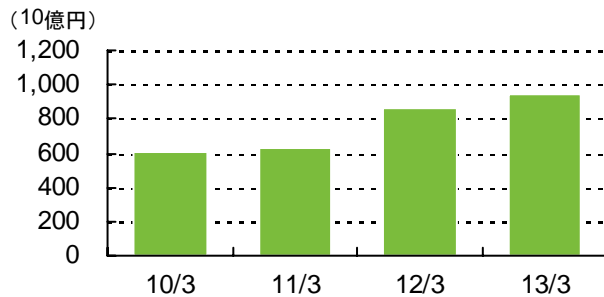
香港



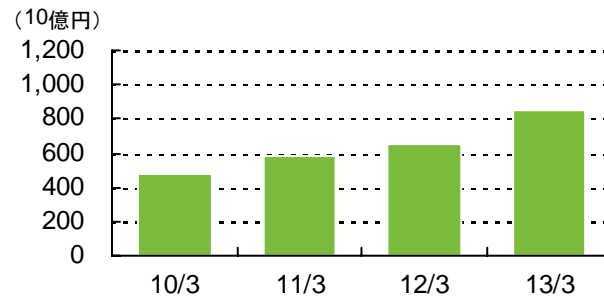
台湾



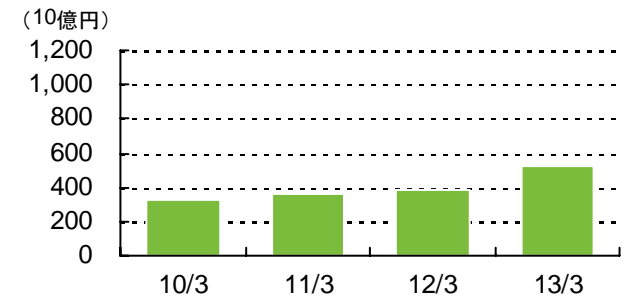
シンガポール



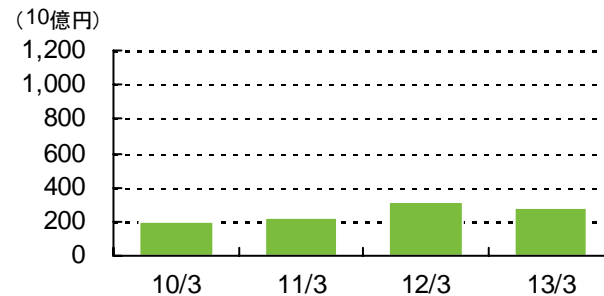
オーストラリア



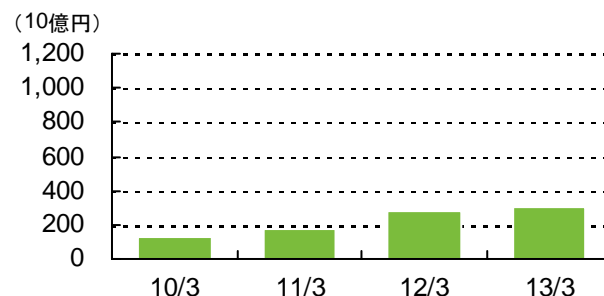
タイ



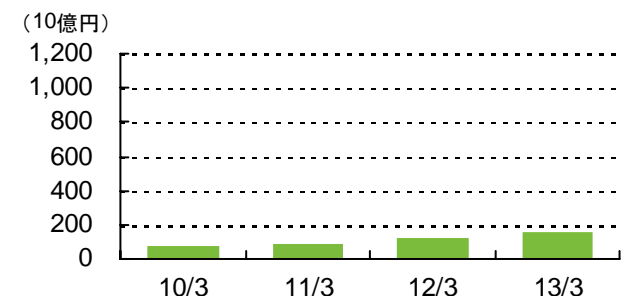
韓国



インド



インドネシア



* 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算。各期末残高は、13/3月末の期末為替仲値で割戻して表記

アジアにおける資本・業務提携先*

	提携銀行名	当初提携	主な提携・協働内容
中国	中国銀行	2000年	● 人民元業務に関する協力等
	中国工商銀行	1995年	● 中国における船舶ファイナンス業務等
	中国農業銀行	2002年	● 中国における資金調達等
韓国	国民銀行	2007年	● 日韓の内外における顧客相互紹介、シンジケーション、資金調達等 ● 2008年、持株会社KBフィナンシャル・グループに出資
台湾	第一商業銀行	2007年	● 中国・台湾における地場通貨調達、拠点ネットワーク活用等
香港	東亜銀行	2008年	● 中国・香港における相互顧客紹介、クレジットカード、資金調達等 ● 2009年・2012年、出資
フィリピン	メトロバンク	1995年	● フィリピンにおける顧客紹介、地場通貨取引、拠点ネットワーク活用 ● 2007年、ジャパンデスク設置
ベトナム	ベトナムエグジジムバンク	2007年	● ベトナムにおけるリテール・SME分野等 ● 2008年、出資 2009年、技術支援契約締結
マレーシア	RHB銀行	1974年	● マレーシアにおける地場通貨調達、決済業務、イスラム金融等
インドネシア	バンク・タブンガン・ ペンシウナン・ナショナル	2013年	● 2013年、出資。出資を通じてインドネシアのリテール業務への参入等を検討
	バンク・セントラル・アジア	2009年	● インドネシアにおける地場通貨調達、決済業務(CMS)等
カンボジア	アクレダ・バンク	2012年	● カンボジアにおける拠点ネットワーク活用、決済業務、貿易金融等
インド	コタック・マヒンドラ銀行	2010年	● インドにおける資産運用(インフラファンド設立)、証券業務等 ● 2010年、出資

Bank Tabungan Pensiunan Nasional Tbk PT(BTPN)の実績

B/S、P/L

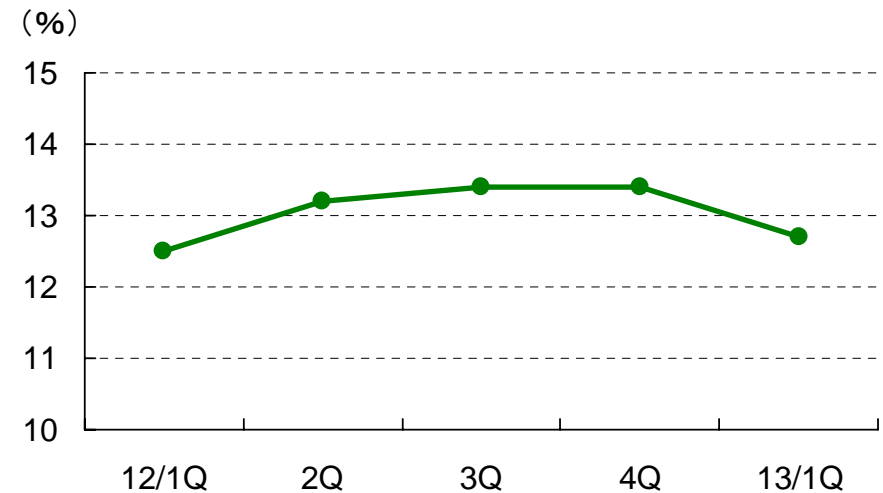
B/S (bn IDR)	12/12末	13/3末		12/12末	13/3末
貸出金	38,844	41,098	顧客預金	45,073	46,616
うち年金	28,046	28,865	その他負債	6,283	7,728
うち事業性個人	9,006	9,578	負債計	51,356	54,344
その他資産	20,246	21,553	資本	7,734	8,307
資産計	59,090	62,651	負債・資本計	59,090	62,651

P/L (bn IDR)	10年度	11年度	12年度	13/1Q	YoY
資金利益	3,539	4,636	6,071	1,664	+26%
手数料収入	135	191	283	61	+7%
営業収入	3,674	4,827	6,354	1,726	+25%
営業費用	▲2,159	▲2,591	▲3,411	▲874	+23%
貸倒引当金	▲369	▲440	▲455	▲131	+18%
税前利益	1,127	1,783	2,485	719	+30%
税引後利益	837	1,400	1,979	573	+30%

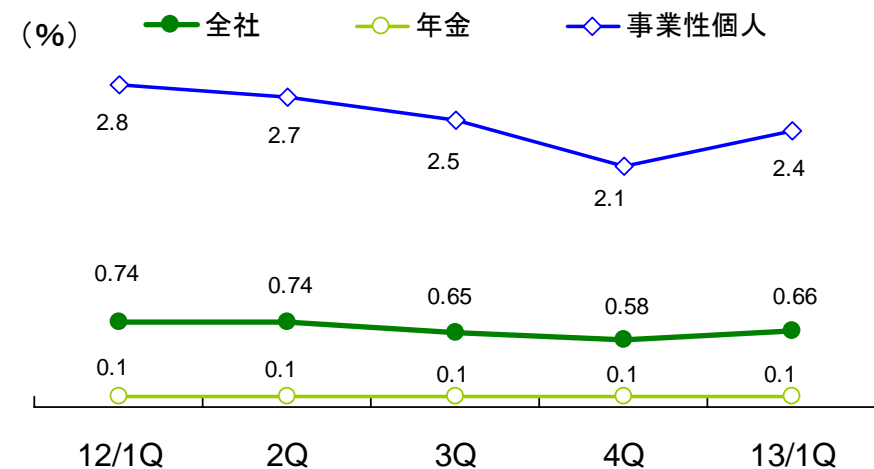
(%)	10年度	11年度	12年度	13/1Q
ROE	32.5	28.9	29.3	28.2 ^{*1}
自己資本比率	23.4	20.5	21.5	22.8

*1 年率換算 *2 為替レート(13年5月8日時点) 1,000IDR=JPY10.2、USD0.1

資金利鞘



不良債権比率



SMBC Aviation Capitalの実績

12年度実績

2012年6月-2013年3月の主な財務数値

(百万米ドル)

総収入*1	576
当期純利益	132
航空機資産*2	7,288
純資産*2	1,078

- 既存の航空機リース事業(※)をSMBC Aviation Capitalへ統合(13/3月)
(※) SMFL Aircraft Capital Corporation B.V.(オランダ)
SMFL・エアクラフト・キャピタル・ジャパン株式会社(日本)
Sumisho Aircraft Asset Management B.V.(オランダ)

今後の施策

- 航空業界及び航空機投資家の多様なニーズに対応するため、株主3社に跨る「One Stop Shop」体制を実現
- 「規模の経済」効果を生かし、堅調な拡大が見込まれる航空機需要を捕捉
- 「Buy & Sell モデル」の維持・深化により、長期的・安定的な収益基盤を確立

*1 リース料収入+航空機売却損益

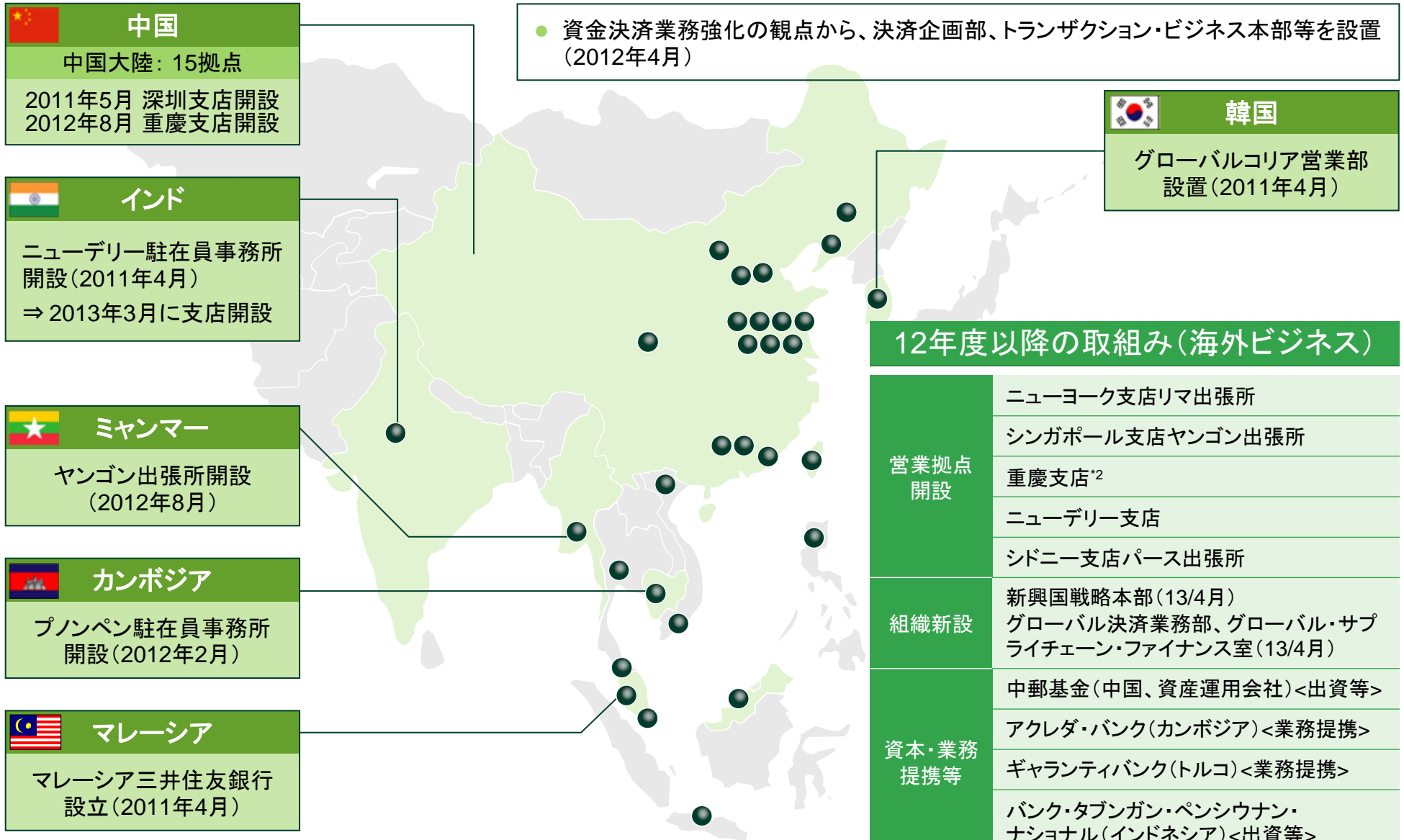
*2 SMFL Aircraft Capital Corporation B.V.、SMFL・エアクラフト・キャピタル・ジャパン(株)、Sumisho Aircraft Asset Management B.V.の計数は合算せず

*3 2012年12月31日時点(出所: Flightglobal Insight「Aircraft Finance 2013」)

航空機リース会社 保有・管理機体数ランキング*3

	リース会社	(国)	機体数
1	GECAS	(米国)	1,742
2	ILFC	(米国)	1,033
3	BBAM	(米国)	332
	SMBC AC + Sumisho Acft Asset Mgt		318
4	AerCap	(オランダ)	297
5	Aviation Capital Group	(米国)	270
6	CIT Aerospace	(米国)	268
7	AWAS	(アイルランド)	244
8	Boeing Capital Corp	(米国)	236
9	SMBC AC	(アイルランド)	232
10	BOC Aviation	(シンガポール)	198
23	Sumisho Aircraft Asset Management	(オランダ)	86

SMBCのアジア展開*1



中国
 中国大陸：15拠点
 2011年5月 深圳支店開設
 2012年8月 重慶支店開設

● 資金決済業務強化の観点から、決済企画部、トランザクション・ビジネス本部等を設置 (2012年4月)

韓国
 グローバルコア営業部
 設置(2011年4月)

インド
 ニューデリー駐在員事務所
 開設(2011年4月)
 ⇒ 2013年3月に支店開設

ミャンマー
 ヤンゴン出張所開設
 (2012年8月)

カンボジア
 プノンペン駐在員事務所
 開設(2012年2月)

マレーシア
 マレーシア三井住友銀行
 設立(2011年4月)

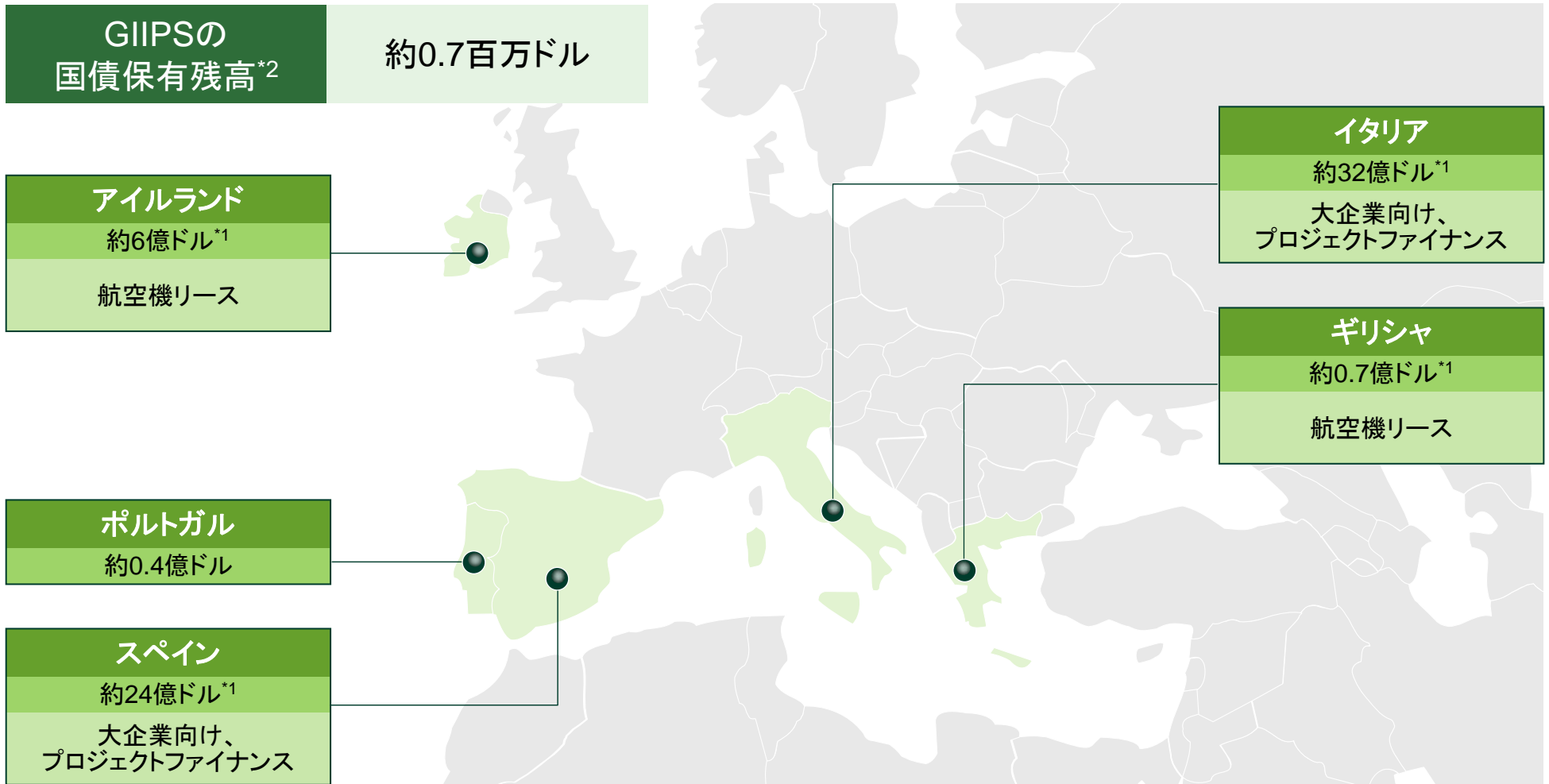
12年度以降の取組み(海外ビジネス)

営業拠点 開設	ニューヨーク支店リマ出張所
	シンガポール支店ヤンゴン出張所
	重慶支店*2
	ニューデリー支店
組織新設	シドニー支店パース出張所
	新興国戦略本部(13/4月) グローバル決済業務部、グローバル・サブ ライチェーン・ファイナンス室(13/4月)
資本・業務 提携等	中郵基金(中国、資産運用会社)<出資等>
	アクレダ・バンク(カンボジア)<業務提携>
	ギャランティバンク(トルコ)<業務提携>
	バンク・タブンガン・ペンシウナン・ ナショナル(インドネシア)<出資等>
関係強化	カンボーザ銀行(ミャンマー)<技術支援等>

*1 2011年度以降に開設した拠点等を枠内に記載 *2 三井住友銀行(中国)の支店

GIIPS向けエクスポージャー

13年3月末のGIIPS向けエクスポージャー: 約63億ドル*1



(SMFG連結)

*1 SMBC Aviation Capital連結化影響は合計約4.9億ドル。うち、アイルランド約3.3億ドル、スペイン約1.1億ドル、ギリシャ約0.4億ドル、イタリア約0.1億ドル

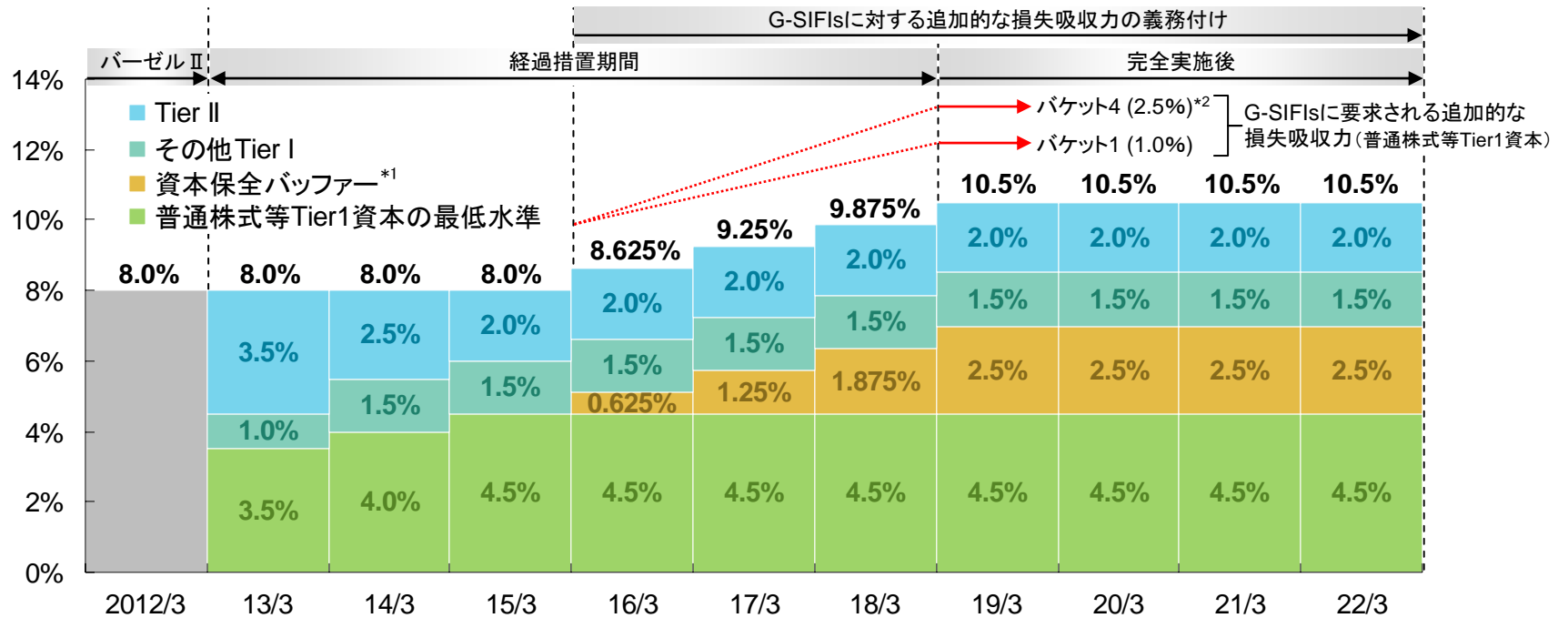
*2 証券子会社がセカンダリー業務で保有。イタリア約0.70百万ドル、ギリシャ約0.02百万ドル

国際的な金融規制への対応

対象金融機関	主な規制メニュー	規制の概要	導入時期	当社への影響・対応
	G-SIFIsへの追加的資本賦課 G20	<ul style="list-style-type: none"> バーゼルⅢ規制に上乗せて資本賦課 	2016年～	◎ SMFGへの上乗せは+1.0%、完全実施基準の普通株式等Tier1比率要件は8%。2013年3月に8%を達成
	再建・破綻処理計画 G20 米 英	<ul style="list-style-type: none"> グループベースのリカバリープラン策定 米国業務にかかる破綻処理計画策定 英国現法にかかるリカバリープラン策定 	(提出済み) 米2013年12月 (提出済み)	○ 各地のスケジュールに応じて対応
	デリバティブ規制 G20 米	<ul style="list-style-type: none"> 清算機関への取引集中義務 非集中取引のマージン規制 米ドッド・フランク法では銀行本体でのデリバティブ取引は原則禁止 (push-out条項) 	2012年12月 2015年1月 米2012年7月	△ 投資銀行対比影響は相対的に少ない見込みながら、必要となる対応を準備中
	業務範囲規制 リングフェンス規制 EU 米	<ul style="list-style-type: none"> 英国・欧州ではリテール銀行部門の法的分離を検討 (リングフェンシング) 	未定	◎ 英国・欧州内でリテール業務運営せず (規制詳細は継続注視)
		<ul style="list-style-type: none"> 米国業務としての自己勘定トレーディング、ファンド投資を制限 (ボルカールール) 外国銀行への資本・流動性規制 (FBO規制) 	2014年7月 (完全施行) 2015年7月	○ 関連業務・影響は限定的との認識ながら規制動向を継続注視
	銀行税 EU	<ul style="list-style-type: none"> 金融取引税 (FTT) 	2014年1月	△ 詳細未定ながら財務影響はマネジャブルな想定
	自己資本規制 G20	<ul style="list-style-type: none"> バーゼルⅢ：最低所要自己資本比率の引上げ、資本の質・リスク捕捉の強化 	2013年	◎ 2014年3月のコアTier I比率目標8%を2013年3月に達成
		<ul style="list-style-type: none"> トレーディング勘定の抜本的な見直し (マーケットリスクウェイトの更なる強化等) 	未定	△ 規制詳細は未定。内容次第で相応の影響が出る可能性
	レバレッジ規制 G20	<ul style="list-style-type: none"> ノンリスクベースのレバレッジ比率を規制 (レバレッジ比率\geq3% (試行期間中)) 	2018年	○ 達成可能な認識ながら、国内規制化まで継続注視
		流動性規制 G20	<ul style="list-style-type: none"> LCR: ストレス時の預金流出や短期調達困難化等への対応力を強化 LCR\geq100% 	2015年
	<ul style="list-style-type: none"> NSFR: 長期の運用資産に対応する長期・安定的な調達源の確保 NSFR$>$100% 		2018年	
その他 G20	<ul style="list-style-type: none"> シャドウ・バンキング規制: MMFやレポ取引・証券化等の銀行類似業務への規制強化 大口信用供与規制 	未定	△ 規制の方向性は未定であり、引続き動向注視	

◎ 規制水準十分達成可能 ○ 規制水準達成可能 △ 影響不透明

■ 新たな自己資本比率規制の概要



普通株式等Tier1資本からの段階的控除 ^{*3}	-	20%	40%	60%	80%	100%	100%	100%	100%	100%
資本のグランドファザリング	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%	20%	10%	-

*1 資本保全バッファ等2014年以降に適用が予定される一部の規制に関する告示案は、今後公表される見込み。

*2 この他、バケット5(3.5%)として、システム上の重要性の程度を更に増す意欲を抑制するための空バケット有り

*3 繰延税金資産、モーゲージ・サービシング・ライツ及び金融機関に対する出資を含む

G-SIBsの格付推移(Moody's)*

	2001年4月1日	2007年7月末	2013年4月末
Aaa		<ul style="list-style-type: none"> Bank of America Bank of New York Mellon Citibank JPMorgan Chase Bank Royal Bank of Scotland UBS Wells Fargo Bank 	
Aa1	<ul style="list-style-type: none"> Bank of America Crédit Agricole Wells Fargo Bank UBS 	<ul style="list-style-type: none"> Banco Santander Barclays Bank BBVA BNP Paribas Crédit Agricole Credit Suisse Deutsche Bank HSBC Bank ING Bank Nordea Bank Société Générale State Street Bank & Trust 	<ul style="list-style-type: none"> Bank of New York Mellon
Aa2	<ul style="list-style-type: none"> Bank of New York Mellon Barclays Bank BBVA Citibank HSBC Bank ING Bank JPMorgan Chase Bank Royal Bank of Scotland State Street Bank & Trust 	<ul style="list-style-type: none"> SMBC BPCE(Banque Populaire) BTMU Mizuho CB/BK UniCredit 	<ul style="list-style-type: none"> State Street Bank & Trust
Aa3	<ul style="list-style-type: none"> Banco Santander BNP Paribas BPCE(Banque Populaire) Deutsche Bank Société Générale UniCredit Goldman Sachs Bank Morgan Stanley Bank 	<ul style="list-style-type: none"> Goldman Sachs Bank Morgan Stanley Bank 	<ul style="list-style-type: none"> SMBC BTMU HSBC Bank JPMorgan Chase Bank Nordea Bank Wells Fargo Bank
A1	<ul style="list-style-type: none"> Credit Suisse 	<ul style="list-style-type: none"> Bank of China 	<ul style="list-style-type: none"> Bank of China Credit Suisse Mizuho CB/BK Standard Chartered
A2	<ul style="list-style-type: none"> BTMU Standard Chartered 	<ul style="list-style-type: none"> Standard Chartered 	<ul style="list-style-type: none"> Barclays Bank BNP Paribas BPCE(Banque Populaire) Crédit Agricole Deutsche Bank Goldman Sachs Bank ING Bank Société Générale UBS
A3	<ul style="list-style-type: none"> SMBC Mizuho CB/BK 		<ul style="list-style-type: none"> Bank of America Citibank Morgan Stanley Bank Royal Bank of Scotland
Baa1	<ul style="list-style-type: none"> Bank of China 		
Baa2			<ul style="list-style-type: none"> Banco Santander UniCredit
Baa3			<ul style="list-style-type: none"> BBVA

* コア銀行の長期発行体格付(存在しない場合は長期預金格付)

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。